捃拾帖

十五

A 00
6010

進

京都梅津
パピールファブリク
製品

№ 33.

第卅三

百枚	白紙	糊入	長サ壱尺壱寸 中 八寸	八分六ソ六毛	105 Bogen
					Papier
					geleimt
					Format 11/8

PAPIERFABRIK in UMEDU bei KIOTO

UMEDU・KIOTO

明治九年九月
于西京大谷
贈石博壽

東京帝室博物館圖書

雨畑硯 品々
蠟石印林
高印池

東海道中海道 道法早引道中記

玉水晶 眼鏡
置物 印林
文鎮 風鎮
根附 緒〆
珠数玉

富士石品々
甲斐名産
云々

印林 文鎮
諸〆 根附
硯

右品々細工念入直段格別お値段下直ニ仕候間御用向
被仰付被下候様奉願上候

東海道富士川西端岩淵
玉屋事 硯屋長右衛門

猶影淺處士
清風任動生

西京
御影堂量阿彌製
大阪京橋二丁目店

男爵田中光顕男氏寄贈
先代田中芳男旧蔵書
昭和七年

貫効丸

蒸氣郵船送り状之事

丹波修治殿

一 荒包拾壱ケ

右之通積送り候条貴地へ着御
改御請取可被下候以上

明治八年
一月十八日

四日市廻漕会社
黒川彦左衛門

運賃濟

會社ヨリ届 賃先拂

東京諸掛

廻漕勢州四日市港 會社 黒川彦左衛門

貫効丸

[illegible]

清浩丸

蒸氣郵船送り状之事

[illegible]

一 小荒包壱ケ

右之通積送り候条貴地へ着御
改御請取可被下候以上

十二月廿三日

四日市廻漕会社
黒川彦左衛門

運賃濟

會社ヨリ届 賃先拂

廻漕勢州四日市港 會社 黒川彦左衛門

[illegible]

Tajisima Tuneaki.

現金 万

御書物諸流譜古本大坂五行義太夫本類
新形團扇千代紙書簡袋いろはかるた
百人一首歌嘉留多御進物箱入錦繪品〻
新板草雙紙東錦繪并ニ縮緬繪畫帖數品

地本繪雙紙問屋

京橋銀座二甼目

日本橋通一丁目店

萬屋孫兵衛

日本帝國海軍砲兵隊附樂隊

樂譜編號

一 スローマーチ　タラインファル
二 クヰッキマーチ、シーンス、ザットアール、ブライテスト
三 クワドリル　ヲンドル、ゼイ、ミルトルトー
四 グラント、ファンタレア、ソウヱニール、デ、メイヱビール
五 ガロノプ、ゼィ、クリミソン、スカルフ
六 ウヲールス、リットル、ニル
七 ポルカー、フォページ
八 クワドリル、ソーウヱニール、デパリ
九 ウヲールス、ロンドン、ソサイチー
十 スロー、マーチ、ヘールツー、ゼィデユーク
十一 ウヲールス、ウードラント、ウィスペル
十二 ガロープ、ゼィヲウトポスト
一 君カ代ノ譜

第五月

海軍樂長　藤木知信

日本帝國…

樂…

一 上野…
二 ウーブェ…
三 セシル…
四 ラ、モ…
五 ファン…
六 カドリ…
七 ラナ…
八 レョッ…
九 ファン…
十 ポルカ…
十一 ブルーア…
十二 ラルゴー…
十三 東京ノ…
十四 日本ノ…

第五月

日本帝國陸軍教導團軍樂隊

樂譜編號

樂譜編號		作者人名
一	上野（パル レヨヅーブル）	陸軍省雇教師 ダグロン
二	ウーブェルチュール、ドラ、グランド、ギユシエス	ヲファンバク
三	セシル スコチク	ラヴィールギョー
四	ラ、モビール アレグロ、ミリテエル	バット
五	ファンテジー、シユールラ、フィユ、ド、マダム、アンゴー	レコック
六	カドリル、シユール、ラ、ヴイ、パリジエンヌ	ヲハンバク
七	ラ ナセール ヴァールス	ヅーアル
八	レヨツルーバドール アレグロ、ミリテエル	セルニック
九	ファンテジイ、シユール、シイ、ジエテー、ロワー	アダム
十	ポルカ プール ピストン	アルバン
十一	ブルーエット マジユルカ	ピアンテー
十二	ラルゴー、デ、ピユリタイン	ベリニ
十三	東京ノ俗調	陸軍省雇教師 ダグロン
十四	日本ノ樂譜	同 ダグロン

第五月

陸軍教導團軍樂長 小篠秀一

Fujisima Tuneoki.

PROGRAMME.

THE IMPERIAL MARINE ARTILLERY BAND.

1 Slow March. "Triomphale"
2 Quick March. "Scenes That Are Brightest"
3 Quadrille. "Under the Mistletoe"
4 Grand Fantaria. "Souvenir de Meyebeer."
5 Galop. "The Crimson Scarf."
6 Waltz. "Little Nell."
7 Polka. "Fopaze."
8 Quadrille. "Souvenir de Paris."
9 Waltz. "London Society."
10 Slow March. "Hail to the Duke."
11 Waltz. "Woodland Whisper."
12 Galop. "The Outpost."

Japanese Hymn. National,

FUGIKI TOMONOBU.
Band Master.

TOKIO, JAPAN.
May 1876.

版元

地本錦繪 草紙問屋

静錦堂

神田須田町 澤村屋清吉

PROGRAMME.

MUSIQUE MILITAIRE DU CORP IMPÉRIAL
DES KIODODANS.

1°	Ouéno (par redouble)—	Dagron
2°	Ouverture de la Grande duchesse—	Offenback
3°	Cecile—Schottich—	Lavilladieu
4°	La mobile allégro militaire—	Bathx
5°	Fantaisie sur la fille de madame Angot—	Lecoq
6°	Quadrille sur la vie parisienne—	Offenback
7°	La nacelle—Valse—	Douard
8°	Le troubadour—Allégro militaire—	Sellenick
9°	Fantaisie sur : " si j'étuis roi "	Adam
10°	Polka pour Piston	Arban
11°	Bleuette—Mazurka	Bieuter
12°	Largo des puritain—	Bellini
13°	Tokio—Polka	Dagron
14°	Musique sur des airs Japonais	Dagron

Tokio, Mai 1876.

KOZASSA FIDÉKATSU.
Chef Musicien Militaire.

FUGIKI TOMONOBU.
Band Master.

Tokio, Japan.
May 1876.

御養生 牛肉所
一 御進物 牛肉折詰
一 牛肉[illegible]煮
一 [illegible]
一 ぶた
一 西洋酒品々
東京 銀座[illegible]丁目 松川

證

一 學業捷徑 八部

右正ニ受取候也

六月三十日
勸業寮
出張所

送り状之事

丹波備後[illegible]

一 [illegible]包 壱ツ

右之通積送り[illegible]着後[illegible]也

伊勢四日市港

黒川彦左衛門

運賃濟

會社ヨリ届 賃先拂

東京諸掛

伊勢四日市港 會社 黒川彦左衛門

より

貫効丸

[illegible]

[illegible]

水晶

阿蘭陀

神田通新石町

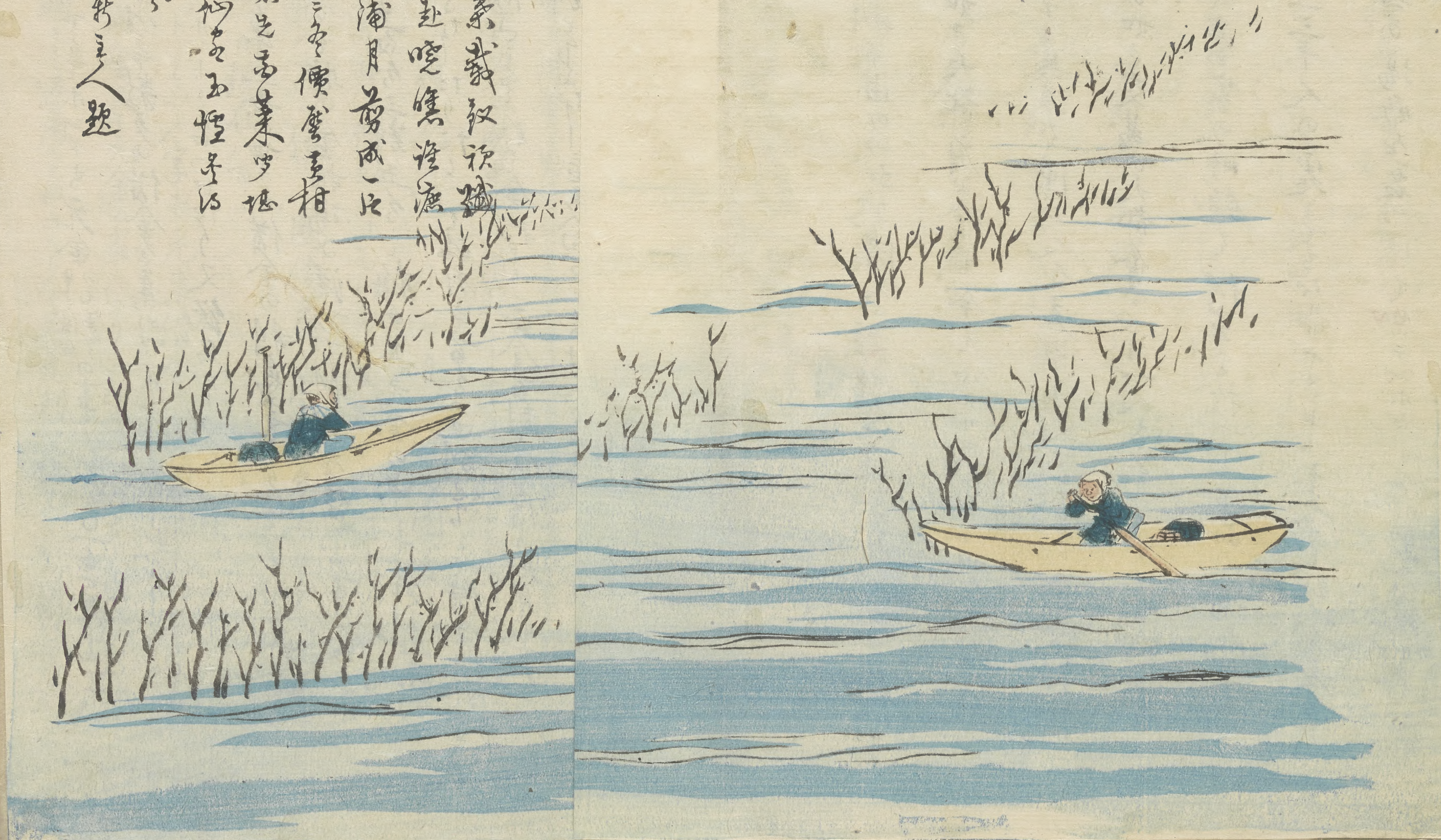
御眼鏡細工所

太田屋酒兵衛

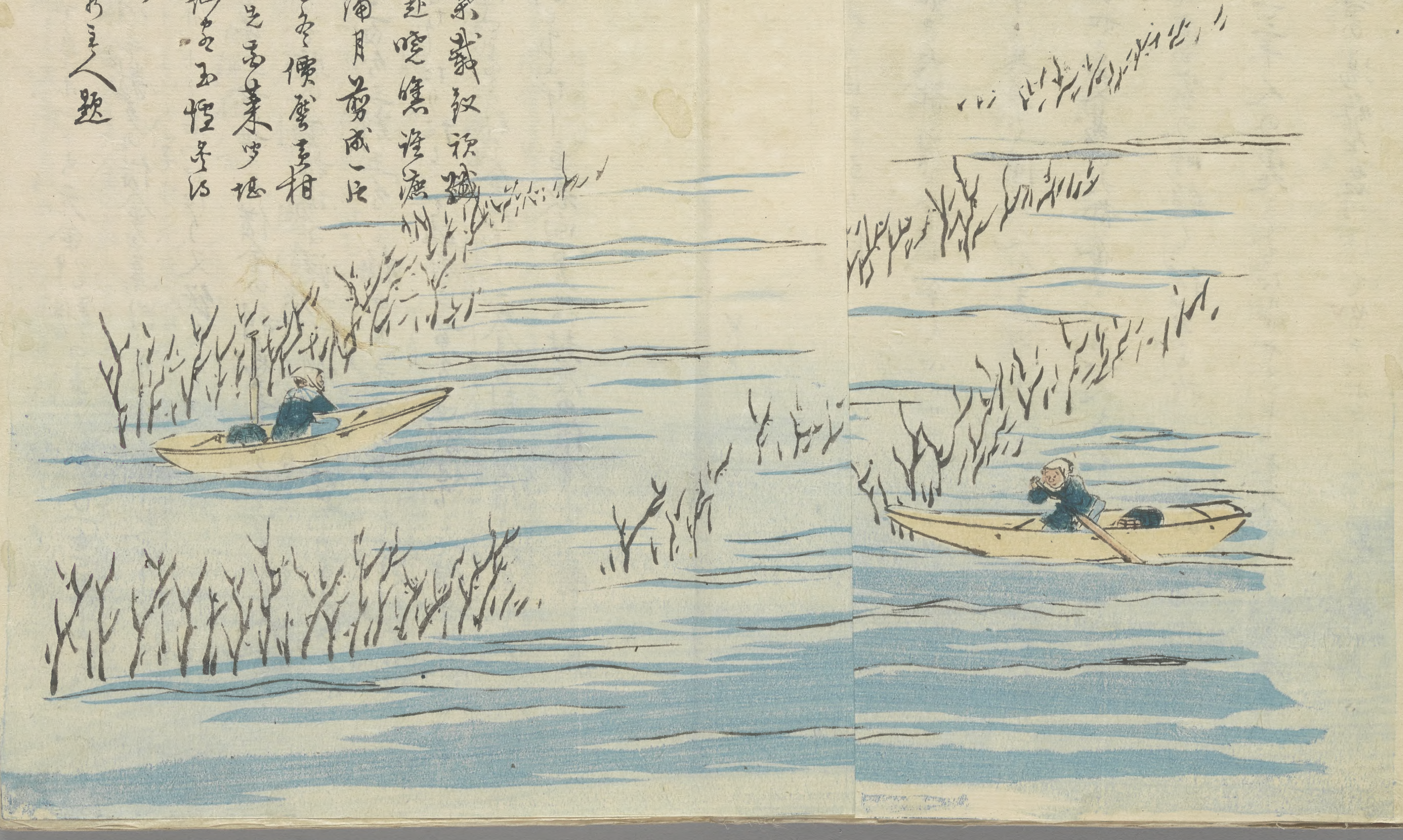
[illegible]

舟程之乗載叙被織
手弱累蔦赴嗟焦淮瘢
水溥是浦月蒡成一片
和川雲三々便壓青相
出千里宮之為茉少堪
如天台供仙之玉烟各沼
驚之嘉祭

吉仙軒主人題



舟程之乗載釵袂織
手節罟篙赴暖僬灑
生漕羊浦月葛成一片
不川雲之三分價盛青柏
出千里客先高蓬萊少捷
如天台仙姑仙女玉煙冬河
琴葉葉
吉仙齋主人題



住吉ニ而預り候ヘ
十五日存付候ヘ度

記

一 [illegible]三年二月五日[illegible]

伊勢朝明郡川北村

内 山 修 行

四円[illegible]
通常貸金 [illegible]

右荷物中書状通貨為換[illegible]
趣旨規則承知印量同般請取當社
物貨取扱規則ニ通[illegible]相違
[illegible]仕候也

子之月 八日

東京
内國通運會社

博物館[illegible]

此儀ハ茶道乃宗匠方茶事の周旋にして清き持美を旨とし精神を冨律を第一ハ雨湯を撰ふ粗香道を参し其の香きを専一に著し諸君の高を希ひ広く世に云る

東京本町三丁目
いせや五兵衛 謹製

証

[illegible]

一 [illegible]	[illegible]	一 [illegible]	[illegible]
一 [illegible]	[illegible]	一 [illegible]	[illegible]
一 [illegible]	[illegible]	一 [illegible]	[illegible]
一 [illegible]	[illegible]	一 [illegible]	[illegible]
一 [illegible]	[illegible]	一 [illegible]	[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

芳煙流万里
馞氣徹高天
官内焼清志
宮中弄取憐
邪穢不入門
雷鳴除薫地
衣冠銷惡臭
庖廚避腥羶
閑居無相像
勤行有諸縁
蚊蚋逃帷帳
蠹魚遁帙編

抑此ものハ茶道乃宗匠
宗甫先生秘方茶事の用香にして
諸の不浄を除き鬱気を散し精神を
ますあんじ 別して当時流行ハ雨湿を排ふ
名香なり 尊が家相伝香道を愛しこの香
法をもとめて世に弘し 諸君の
幸ひを蒙んことを希ひ広く世に弘る
その志のみ

御香具所　東京和町三丁目　いせや五兵衛謹製

明治九年送達紙

技術

スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通リ心得ベキ事

發局				着局			
報	第 號	局	日	字數 字	第 號	局	日
私	六	濱	一月十一	十八 / 午前八時三十五分	一	本局電信局印	一月十一

届 田中ヨシレヨ殿

コンニチノレユウクハイハエン

出 濱 佐野恒氏

右九月五日受入 明治九年

澳國博覽會布告文 一冊

航海造船報告書 一冊

古船吟味心得 一冊

工業傳播報告書 一冊

蠶卵説 一冊

澳國博覽會報告書 國勢部上下 二冊

[redacted]

澳國博覽會賞狀及賞牌頒與表 一枚

明治九年送達紙

スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通リ心得ベキ事

報	第 號	局	日	午 時 分	字數 字	第 號	局	日	
私	第六號	濱局	一月十一日	午前八時五十五分	字數十八字	第一號	局	一月十一日	技術

發局 / 着局

届　田中ヨシミ

出　濱　佐野常民

コンニチノシユウクハイハ
エンニンソロ

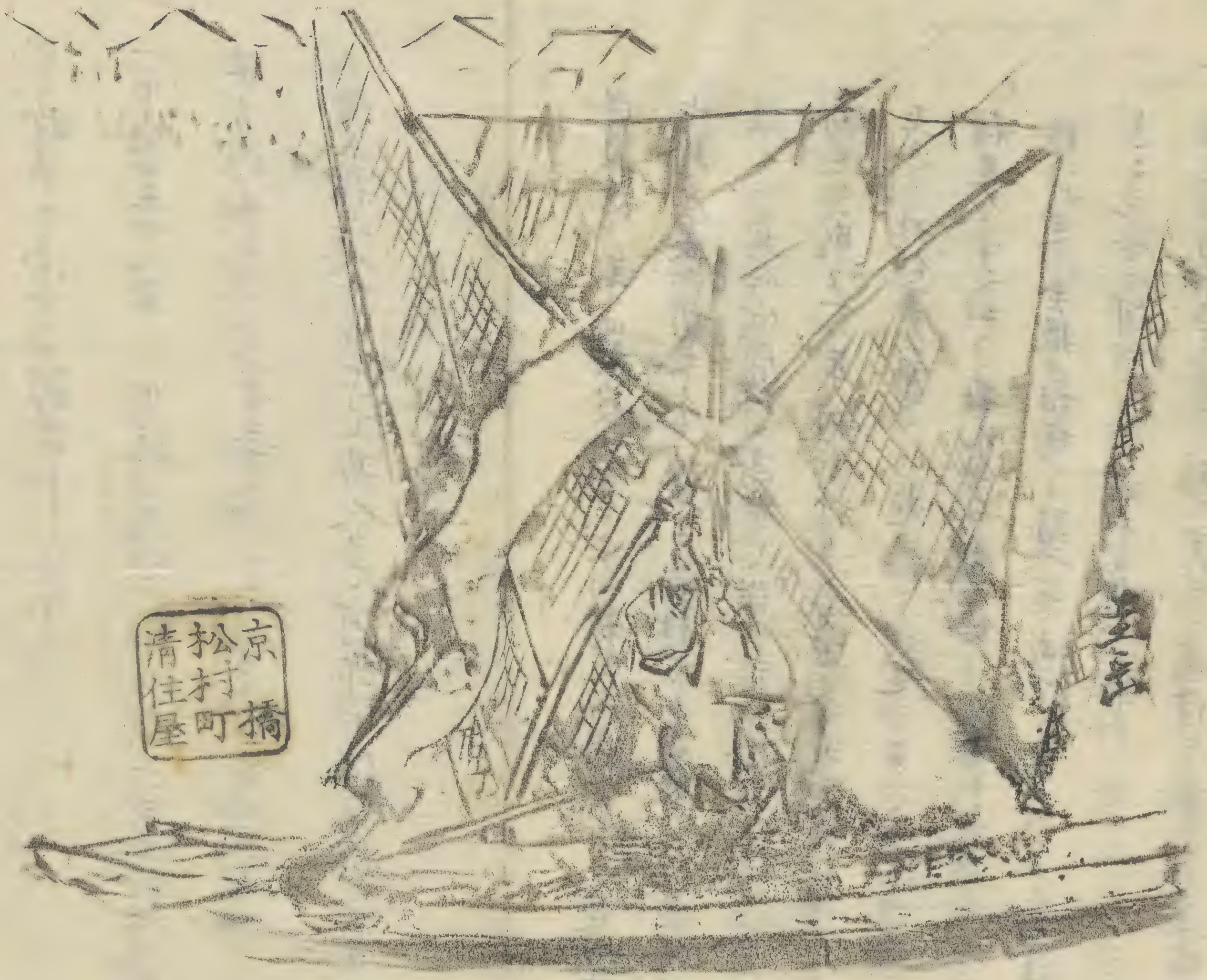
明治九年
右九月廿三日受入

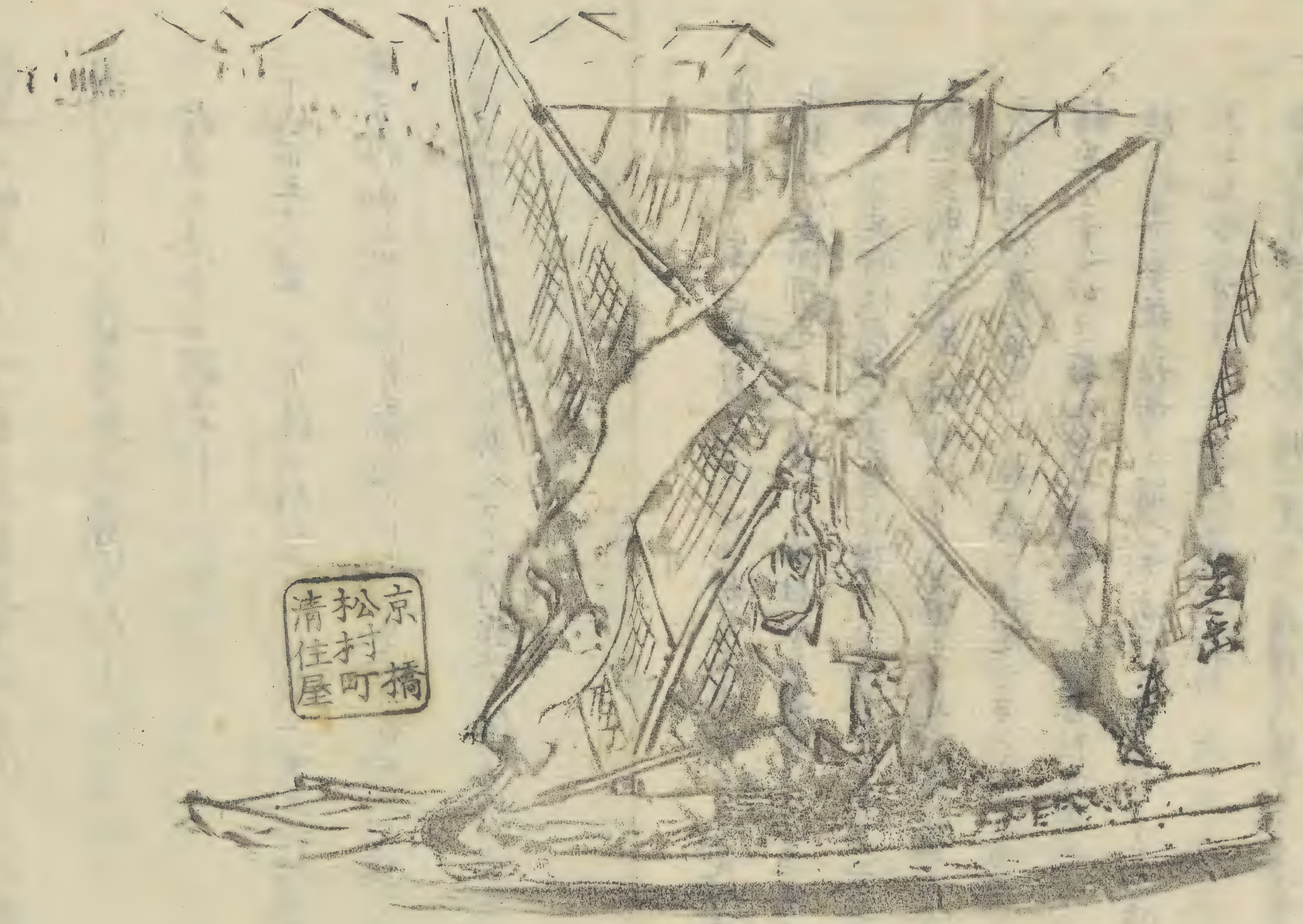
澳國博覧會布告文	一册
航海造船報告書	一册
古船吟味心得	一册
工業傳播報告書	一册
蠶卵説	一册
澳國博覧會報告書	國勢[redacted]部上下二册
[redacted]	[redacted]
澳國博覧會賞状及賞牌頒與表	一枚

内用
號 2759
田中芳男殿
飯田町二丁目九段坂上
常燈臺北隣五拾九番地
資生堂薬舗

内用
號 2720
田中様
飯田町二丁目九段坂上
常燈臺北隣五拾九番地
資生堂薬舗

京橋松村町清住屋





京橋
松村町
清住屋

甲陽佳品
玉兆栗

御菓子所
國春堂
煉羊羹類
甲府八日町三丁目

本郷 天沢寺前
藤家
福壽軒

[illegible]

御膳
信州更科蕎麦所
一 御そばの義ハ湯さしたまゝせいろうにかき
まハしころそくにあげ差上申候
はしまて御あそび下され候
一 御そばかけそばハせいろうのごとくにいれ
ぬるまゆとおけらく湯をはきてつら遊
遠方の御方様ハ御ひ物にお乗てられ候
一 御敷切
一 御重詰 御好次第
一 御折詰
麻布永坂町
さらしな主前
ぬのや太兵衛

松茸漬

長野伊勢町
御菓子司
遠州屋儀八

松代
安(?)風茶漬

和漢
筆墨硯文房具
東京九段坂通今川小路
玉川堂流芳

明治八年
二月廿一日

東京 K.O. 小川町拾壹番 御印判 尾島邦三郎

甲州雨畑流石
硯工本家
鬼島 雨宮彌兵衛

此郵便物ハ米國ヲ經テ來ル郵便條約外
ノ郵ニテ到着セシ仍テ請取人ヨリ特殊ノ便
宜ヲ與ヘンタメ郵便規則ニ依テ繳ヲ
以テ賦課セシ仍テ米國郵便税ヲ此朱消
ノ切手ヲ用ヒ而シテ御拂可申事

驛遞寮

明治九年 雨畑村ヲ硯村ト改称

明治九年一月

稟

一 清國傳製 雲片
一 仝 桂花糖
一 清國傳習 牛皮糖

右之外煎抹茶流之諸大家御好之御菓子各品仕候處猶今般支那國產之茶菓子品〻傳製致元種相撰精製調進仕候間從來御愛顧之諸大家不相替御用被仰付度冀上候

謹言

東京大傳馬街第三
梅花亭 森田清翁謹白

松華漬

長野伊勢町
御菓子司
遠州屋儀八

松代産
[illegible]漬

和漢
筆墨硯文房具
東京九段坂通今川小路
玉川堂流芳

東京 K.O. 小川町 御印判 尾島邦三郎

明治八年
二月六つ

稟

一 清國傳製 雲片

一 仝 桂花糖

一 清國傳習 牛皮糖

右之外煎抹茶流之諸大家御好之御菓子各品仕候所猶今般支那國産之茶菓子品〻傳製致元種相撰精製調進仕候間從來御愛顧之諸大家不相替御用被仰付度冀上候

謹言

東京大傳馬街第三

梅花亭 森田清翁發兌

明治九年一月

但シ此ノ郵便條約外
請求人ヨリ特殊ニ便
便規則ニ依テ[illegible]
郵便税ヲ此朱消
[illegible]拂フ可キ事

一 通家

信州松代住
[illegible]壽軒
伊勢町

明治九年 雨畑村ノ硯村ト改称

甲州雨畑流石
硯工本家
鬼島 雨宮彌兵衛

松茸漬

松代產

長野伊勢町

和

州伊勢町

連家

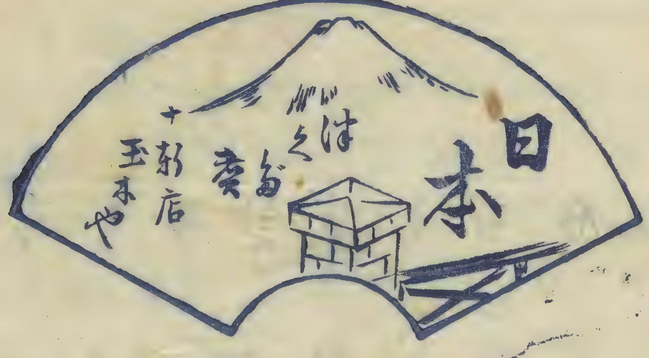
明治六年 雨畑村ヲ硯村ト改称

甲州雨畑流石
硯工本家
鬼島 雨宮彌兵衛

一 仝 桂花糖
一 清國傳習 牛皮糖
右之外煎抹茶流之諸大家御好之御菓子各品仕候所猶今般支那國產之茶菓子品〻傳製致元種相撰精製調進仕候間從來御愛顧之諸大家不相替御用被仰付度冀上候
謹言
東京大傳馬街第三
梅花亭 森田清翁發兌

田中氏藏版章

田中氏藏版章



來ル十七日ヨリ開店

此酒ハ強壮補血藥ニメ飲食ヲ進メ氣力ヲ増シ鬱憂ヲ開キ精神ヲ爽ニシ睡眠ヲ快シ殊ニ胃酸ヲ制シ風氣ヲ驅リ胃痛ヲ鎮静スルヲ以テ胃弱不消化症ニハ常ニ缺ク可カラズ或ハ炎暑ノ節平日之ヲ用フレハ豫メ中暑ノ患ヲ防クベシ斯ノ如ク多功ニメ且美味佳香ヲ存シ實ニ闔世ノ良藥ナリ

服量ハ一戔ヨリ四戔ニ至ル適宜ノ冷水ヲ加エ食後ニ服スルヲ佳トス或ハ中暑霍亂泄瀉病等ニ於テハ一二戔宛半時間若クハ一時間毎ニ用フレバ速ニ妙功ヲ奏スベシ

銘酒 おいらん
元賣捌所
四ッ谷忍町八番地
近藤徳兵衛

証

一 田中芳男 [illegible]

右正致落手候也

十年一月十二日 式部寮

内務省 御中

一 [illegible]

[illegible]

久保利 [illegible]

版権免許

押田俊三製著

日本地図智慧の板紙

明治九年九月発兌

此ちゑの板紙の用法ハ先空廓を画きたる紙を展べて東西南北の方角を視定め備その上に國の形ちの板紙を何の國より始むるとも人々の随意に順よく列べ全國の地図を組立るなり

定價拾錢

此玩具の板紙の用法ハ先空廓を画きある紙を展べて東西南北の方角を視定め備その上ニ國の形の板紙を何の國より始むるとも人々の随意ニ順よく列べ全國の地圖を組立るなり

定價拾錢

石書記 一通
右正ニ落掌候也
一月八日 大久保利通
阿史仲
觀文

止と是の格絵の周辺ゝ先宜廓を
畫きて紙に展へく東西南北の
方角を視定め備えの上に圍の形
の板紙を河の國ゝ始めるとよ
人々の随意に順〻列へ全國の
地圖を組立るあり

定價[illegible]錢

上海航郵船横濱發着一覧表

航客運賃表

横濱ヨリ方今定價

	神戸	馬關	長崎	上海
上	拾圓	拾五圓	二拾圓	三拾二圓五十錢
下	三圓	四圓五十錢	六圓	七圓五十錢

小見三才迄ハ無賃三才以上拾才迄ハ半賃之事

荷物運賃表

量目壹噸 千六百ノ拾斤 嵩立方四拾尺

横濱ヨリ	
神戸迄	洋銀壹枚半
馬關迄	仝二枚
長崎迄	仝二枚半
上海迄	仝三枚

右ノ外小細ノ荷物時宜見計可申受事

船號

東京丸 原名ニウヨルク	玄海丸 原名コスタリカ
廣島丸 仝ゴルデンエジ	名護屋丸 仝チルゴニヤン

大坂神戸尾勢三陸ニ向ケ毎日出港仕候歐米諸州ニ向ケ毎月兩三度宛横濱ヨリ出發仕候

右ニ付急御用之節ハはかき郵便ニテ御報知被下候得バ早速壹人御伺可申上候也

横濱出港日割

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
五日	二日	六日	四日	一日	六日
十二日	九日	十三日	十一日	八日	十三日
十九日	十六日	廿日	十八日	十五日	廿日
廿六日	廿三日	廿七日	廿五日	廿二日	廿七日
	卅日			廿九日	

横濱入港日割

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
六日	三日	七日	五日	二日	七日
十三日	十日	十四日	十二日	九日	十四日
廿日	十七日	廿一日	十九日	十六日	廿一日
廿七日	廿四日	廿八日	廿六日	廿三日	廿八日
	卅一日			卅日	

出港前日時々御用伺トシテ壹人宛相廻シ候間御用向御付被下度奉願候

郵船問屋

◎ 横濱辨天通リ二丁目 西村新七

回 東京芝愛宕下櫻川町二番地 同出張所

回 同堀江町二丁目九番地 同出張所

讀賣新聞第百六十四號附錄

明治八年八月二日（附錄ハ代價ニ及びません）

○今般當校に於て生徒百名入學ヲ許ス年齢十三年以上十七年以下にして入學志願の者ハ來る八月二十五日迄に從前學業之履歴書を以て其旨申出すべし但し入學志願に付從前履歴書を差出置たるものも今度改て履歴書ハ出すべし
東京英語學校

○保命丹ろうそう一切妙藥高後によし
武州多摩郡玉川手前府中村川崎平右衛門製藥にて御座候處此度東京大傳馬町一丁目占屋金藏方にて取次仕候間御求の程を願上まそ

○拙店氣發焔ハ儀ハ別段吟味仕差上候間御用ひの節ハ大切に御取扱被下度尤も譯て油とみぼすとも差み等にハ決して不用成且又火の出ぎたむらに候時ハ外店にて御求に相成候品にても右三名の中へ御持參被成候ハゞ速ニ直ニ可差上何とぞ有益の品ニ候得バ御用向の程偏に奉希候以上
日本橋元四日市十一番地 桝屋伊助
同所東仲通り傳正町十四番地 廣岡屋龜吉
本町二丁目九番地 四方堂親

○諸國 茶大安賣 おろし 小うり
開店當日より賑々敷御來臨被下難有奉存候又不相替御贔屓奉願候
東京馬喰町三丁目茶師保壽軒
桝屋善之助

○西京井上春耕軒製 御目あらひ藥 眼一切の妙藥 日本無雙御藥菓
子生壽糖大人小兒一切ハ虫下しの妙藥
右此度賣弘仕功能ハ用ひて知り給ふべし
御墨筆硯諸國仕入所
東京日本橋通り一丁目白木屋開店

○學科英學漢學教授時間午前八時より十時まで夜學の事但夜學ハ漢學のみ 第一大區十五小區高代町内田學校
右之規則にて八月二十五日開校致候間志願の方ハ御入校可被成候也

○津田繩 三八用 價金五圓 舶來純粹蜂蜜 壜入金五十錢
此繩ハ近時西洋にて發明せし稻の花の咲きさる時媒助法を施し實入を能くさる農具なり之を行ふ者ハ田地一町にて米穀六七石の實益を得べし四方の君子之を試み給ハんことを乞ふ
東京麻布新堀町二番地 津田繩製造所
右大賣所東京日本橋通三丁目丸屋善七、大坂心齋橋通久寶寺町丸屋善藏、西京二條通ト柳馬場丸屋善吉、名古屋本町八丁目丸屋善八、津輕弘前親方町佐藤彌六、備中笠岡仲の町細謹社

○埼玉縣の二合半領と云處ハいつも米の早く熟する場所にて此節稻の花盛りなり然るに本月廿八日同縣勸業課の官員出張まて兼て評判の津田さんの媒助法を實驗して其損益を人民に示し之と本年の下一般に施さんとて津田繩と云農具を購求し有志の者へ分配せんと縣になせしは己に望の者五百有餘人なりとよふ本日の試驗にハ老民を群集せしめて同縣ハ貸座敷娼妓等の惡風も一變し一人の之と營む者なし今度勸業の盛なると篤實に縣治法の行届き人民の幸福思ひ知るべし

○單語篇音訓附 全一冊
此書ハ是迄の單語篇へ增字と致し童蒙に音と訓との早學びの書也
東京發兌書林 小澤赤坂町三丁目 川崎淸七

○方今代言人の許可有るや人民の辨理たらしむる所以也然るに有志二三と民法律學を研究す訴訟其他諸事件の代言理と勉む尤確證有無を不問原被告の情實を條理と採り上ハ公順と奉じ下ハ靜康と厚せんとす諸君依托の事件有之に於てハ何事と不論該社に来たまはんことを乞ふ
[illegible]社

○内外用達會社廣告
本月十五日社則に從ひ第六回の大常會を開き一月一日より六月三十日までの總勘定と株主毎公示し半季の利益金より諸費と引去り其三分の一を以て常備金とし其三分の二を以て株主出金の高に應し一割五釐の利益を分配すべきことと決を終て今後創立すべき商務の要旨と議するに開業以來内外諸國へ支店名代店を設立するもの既に十六ヶ所に至り元株一萬株ハ殆と餘す處なし然るに名代店と開らんと乞ふ者少からず亦入社そる者日を追て來れり依て元株一萬株へ九萬株と増加し併て十萬株基本金額一百萬圓と爲す事に決定そ

○官許せきの粉藥調進其功諸々の症より出る咳に驗有といへ共大人喘促小兒疳脾風百日咳に尤奇効あり當今前症流行東幹に至きバ萬方驗なし手と束て斃と待のみ因て救の爲毎月五日十五日兩日施し其他代價を受差出臨時用ゆれハ難患に觸る市在取次所に看板あり但し施しハ本家に限ル
東京本町二丁目四番地飯田製

○官許金鳳丸定價十粒包五錢、十四粒瓶入六錢二釐五毛、二十三粒瓶入十錢、二十九粒瓶入十二錢五釐、四十七粒瓶入二十錢、六十粒瓶入廿五錢此藥ハ吾家法にして年來販賣せるに其功のいちじるしきにより尚諸方より取次とのぞむ者夥しく因て今般官許を蒙り遍く世上に廣布以て濟生の一助に供せんとす故にまづ其功能を茲に詳記す是素より無比の名方なれバ乞ふ四方の君子用ひて其功驗を知り給ふべし○主治、傷寒、感冒、中暑、中寒、中濕、中毒、飲食傷、停飮、噯氣、痰咳、喘急、痢疾、瘧疾、泄瀉、嘔吐、呃逆、心腹痛、心腹痞滿、蚘蟲、積聚、疝氣、頭痛、眩暈、欝症、上氣、口熱、勞症、黄疸、脹滿、水腫、婦人諸症小兒驚風、五疳、諸熱、疱瘡、痳疹、舟車駕酒暈、毒蟲咬傷、右等の諸症大人ハ五六粒小兒ハ二三粒白湯にて用ゆ病重きハ十四五粒二三度も用てよろし接氣にハ十四五粒かみくだき水にて用ゆべし
野州梁田郡幅居町 關屋長純製
東京賣弘所横山町一丁目新道十六番地天野卯兵衛

讀賣新聞代價（毎月一日六日十一日十六日廿一日廿六日ハ休み）
一枚賣 八厘　一ヶ月分 十六錢　三ヶ月分 四十錢　半ヶ年分 七十五錢　一ヶ年分 一圓二十五錢
代價ハすべて前ばらひ郵便送りの分ハ郵便税ハ別段に御拂ひ下されたくまた讀賣より御求になるとも附錄が附て有るとも代ハ增ません

東京虎之門外琴平町一番地
日就社

東京横濱共

午前 出	午前 着	午後 出	午後 着
七時	七時五十八分	一時十五分	二時十三分
八時十五分	九時十三分	二時三十分	三時二十八分
九時三十分	十時廿八分	三時四十五分	四時四十三分
十時四十五分	十一時四十三分	五時	五時五十八分
十二時	十二時五十八分	六時十五分	七時十三分
		七時三十分	八時廿八分
		十時	十時五十八分

賃金表

		新橋迄 上	新橋迄 中	新橋迄 下	品川迄 上	品川迄 中	品川迄 下	川崎迄 上	川崎迄 中	川崎迄 下	鶴見迄 上	鶴見迄 中	鶴見迄 下	神奈川迄 上	神奈川迄 中	神奈川迄 下	横濱迄 上	横濱迄 中	横濱迄 下
新橋ヨリ	大人				十五錢	十錢	五錢	四十五錢	三十錢	十五錢	六十錢	四十錢	二十錢	七十五錢	五十錢	二十五錢	壹圓	六十錢	三十錢
品川ヨリ	大人	十五錢	十錢	五錢				三十錢	二十錢	十錢	四十五錢	三十錢	十五錢	六十錢	四十錢	二十錢	七十五錢	五十錢	二十五錢
川崎ヨリ	大人	四十五錢	三十錢	十五錢	三十錢	二十錢	十錢				十五錢	十錢	五錢	三十錢	二十錢	十錢	四十五錢	三十錢	十五錢
鶴見ヨリ	大人	六十錢	四十錢	二十錢	四十五錢	三十錢	十五錢	十五錢	十錢	五錢				十五錢	十錢	五錢	三十錢	二十錢	十錢
神奈川ヨリ	大人	七十五錢	五十錢	二十五錢	六十錢	四十錢	二十錢	三十錢	二十錢	十錢	十五錢	十錢	五錢				十五錢	十錢	五錢
横濱ヨリ	大人	壹圓	六十錢	三十錢	七十五錢	五十錢	二十五錢	四十五錢	三十錢	十五錢	三十錢	二十錢	十錢	十五錢	十錢	五錢			

小兒四歳迄ハ無賃十二歳迄ハ半賃金之事

明治八年日曜日表

○一月	三日	十日	十七日	二十四日	三十一日
○二月	七日	十四日	二十一日	二十八日	
○三月	七日	十四日	二十一日	二十八日	
○四月	四日	十一日	十八日	二十五日	
○五月	二日	九日	十六日	二十三日	三十日
○六月	六日	十三日	二十日	二十七日	
○七月	四日	十一日	十八日	二十五日	
○八月	一日	八日	十五日	二十二日	二十九日
○九月	五日	十二日	十九日	二十六日	
○十月	三日	十日	十七日	二十四日	三十一日
○十一月	七日	十四日	二十一日	二十八日	
○十二月	五日	十二日	十九日	二十六日	

東京ヨリ横濱迄往復鐵道之圖

官許出版
東京神田萬世橋通リ淡路町二丁目
和漢洋活版所
國文社
山田榮造著

加州金澤尾張町
菓子御調進所
森下森八

青林堂

日本 各用植物見本

紀元二千五百三十六年
明治九年二月

博物館

USEFUL PRODUCTS
OF THE
VEGETABLE KINGDOM.

博物館印

口演

一 御吸物

一 御茶漬

以上

領收之證

一 河興封書 壱

三月八日

内務省

新工夫

東京

流乃鏡

東橋銀座壹丁目
昆布屋

長生殿

加州金澤尾張町
調製御菓子所
森下森八

日本
各用植物見本
USEFUL PRODUCTS OF THE VEGETABLE KINGDOM.

紀元二千五百三十六年
明治九年二月

博物館

博物館

口演

一 御吸物

一 御茶漬并湯

以上

領収之証

一 河瀬出封書 壱

三月廿八日

内務省

新工夫

東京

瀧乃錦

東橋銀座壹丁目

昆布屋

加州金沢尾張町
精製御菓子所
森下森八

青林堂
筆墨硯精製

口演

東京銀座一丁目

日本

各用植物見本

USEFUL PRODUCTS OF THE VEGETABLE KINGDOM.

博物館

明治九年三月

新工夫

流乃錦

東京銀座壹丁目

日本

各用植物見本

博物館

USEFUL PRODUCTS OF THE VEGETABLE KINGDOM.

青林堂

筆墨硯精造

東京本石町

口演

以上

東京銀座一丁目

新工夫

東京

流乃錦

銀座壹丁目

東京絵入新聞十二月一日附録焼場一覧

○去ル十一月廿九日午後十一時二十分日本橋数寄屋町貳番地の御蒲鉾渡世鈴木貞蔵と其隣なる梅村某の間より失火し始ハ火元もさだかならずとの事なりしが其筋の調べにて鈴木の方に決せられしよし尤も火の縁もなき場所より燃出たるにて全く怪火ならんとの噂あり此夜ハ木枯の風西北より吹募りければ風かみへハ纔に壹軒焼たる迄にて壹番地の蒲鉾渡世中島辰五郎が焼止りにて南ハ北紺屋町を限りとし東日本橋の通へ焼延てハ西側が通三町目十六番地の金物屋を限りとし東側ハ須原屋といふ薬屋を焼止りとし猶北東ハ鞘町の中橋座より本材木町の川をこえて八町堀松屋町岡崎町をへて本八町堀五丁目高橋

際迄焼南東ハ京橋際から竹河岸通りより川を越て南八町堀ハ四町目まで新富町ハ七町目迄焼東京第一の大劇場新富座も悉く焼失茶屋俳優の住居も残さず中に坂東彦三郎の住居のみハ幸ひに残りたり入船町新栄町も悉く焼たれバ彼淫賣の迷兎も煙と共に何方へか消失しなるべしまた同所最寄にてハ怪我人も死人も餘程ありしといへどよく分らず橋ハ松屋橋と八町堀の中の橋との二ヶ所落つ三十日午前六時三十分に鎮火す類焼の戸数ハ一大區六小區にて拾ヶ町うち二ヶ町ハ半焼で千五十戸同七小區ハ廿三ヶ町で四千七百戸同十五小區ハ十六ヶ町で二千五百戸同十小區ハ廿二ヶ町で千七百五拾戸なりといふ

○此類焼にて困る者ハ赤坂御門内元紀州の邸へ七日の間入れてお救被下ると翌三十日東京府より御達が有ましたまた警視廳より焼出されの者へ握飯と梅干を竹の皮包にし夫々へお施しになり佃島の懲役署までハ署長小野田氏の御注意にて艀数艘を出し河岸通りへ逃迷ふ老幼婦女子や荷物を乗せ佃島へ送り助けられたりとぞ

編輯長 前田健次郎
印刷人 染崎延房
東京銀座壹丁目五番地
假本局 絵入新聞社

東京今川小路壱丁目
御印章彫刻師
東確齋 山田金治郎

去十一月廿九日夜類焼仕候處今二日ヨリ藏前差掛ニテ商業相始候間不相替御用向被仰付度奉願候就テハ出火前後來着仕候遠近之御注文狀ハ今日御返事差出申候得共三十日並ニ一日之兩日間ハ甚混雜仕居候ニ付萬一今日御返書差上不申候向御座候得ハ御注文書紛失致候哉モ難斗候間何卒至急御催促可被下候樣此段御報知仕候也

九年十二月二日

書物店 唐物店 丸屋善七

東京 … 小路 … 御印章彫刻師
東確齋 山田金治郎

東京日本橋通三丁目
丸屋善七

○去ヶ十一月廿九日午後十一時二十分日本橋数寄屋町裏河岸通の御蔵前渡世鈴木真蔵と其隣なる梅村某の間より失火し始め火元ともさだかならずとの事なりしが其筋の調べにて鈴木の方に責せられしよし尤火の縁もなき場所より燃出たるにて全く怪火ならんとの噂あり此夜は木枯の風西北に吹募りければ風か [illegible]

明治八年
二月[illegible]

去十一月廿九日夜類焼仕候處今二日ヨリ藏前差掛ニテ商業相始候間不相替御用向被仰付度奉願候就テハ出火前後來着仕候遠近之御注文狀ハ今日御返事差出申

東京小川町
今川小路二丁目番地
田中芳男

東京小川町
今川小路二丁目番地
田中芳男

○去る十一月廿九日午後十一時二十分日本橋區[illegible]の[illegible]鈴木[illegible]と隣なる[illegible]村某の間より失火し始めハ火もとさだかならずとの事なりしが其筋の調べにて鈴木の方に決せられしよし尤火の縁もなき場所より燃出たるにて全く[illegible]火ならんとの噂あり此夜ハ木枯の風烈しく吹募りければ風か
[illegible]

確受之證

大阪和泉町二丁目 [illegible]

一 [illegible] 書籍 [illegible]

右賃金正ニ受取荷物無相違運送候也

明治十年二月二日

田中様

大阪 追金 十銭

三菱滙船取扱處

東京日本橋 西川岸町

福井幸次郎

一 [illegible]

右到着ヲ證ス

十年三月廿日

田中不二麻呂

[illegible]

第 号	書状	新聞紙	書籍類	見本類
	[illegible] 通	箇	箇	箇

請取人	差出人	
信州飯田 [illegible] 町 [illegible]	[illegible] 田中芳男	明治十年 二月廿七日

[illegible]

右之荷物無相違運送候也

三菱滊船取扱處

東京日本橋
西川岸町
福井幸次郎

書留郵便物請取證

第　号	書状	新聞紙	書籍類	見本類
	通	箇	箇	箇

請取人	差出人	
		明治十年二月　日

飯田町二丁目五拾九番地
九段坂上燈臺北隣
賀川東齋
養生堂
調薬舗

飯田町二丁目五拾九番地
九段坂上燈臺北隣
資生堂
調藥舗
賀川東齋

一 白木綿

書留郵便請取證

第　号	書状			
	通	箇	箇	箇

請取人	差出人	
		明治十年 二月廿四日

物無相違運送候也

右ハ追金 十銭

証

一 白木綿 壱調

右之通…

十二月…日

丹波 …

田中様

書留郵便物受取證

箇	箇	箇	壱通

第　　　号

入出差

入取請

明治十年 二月…日

大阪 …二丁目

追金 十銭

物無相違運送候也

処方

田中桜

カヤプテ油　半[illegible]

外用

一 白木箱

右之通正ニ請取申候

十二月[illegible]

田中粋

[illegible]二丁目

書留郵便物請取證

第　号	書状	新聞紙	書籍類	見本類
	壱通	箇	箇	箇

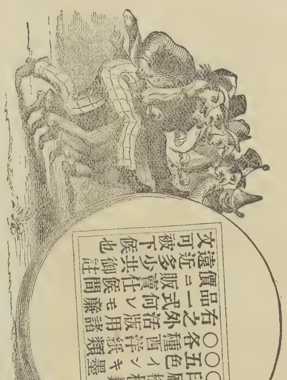
請取人	差出人	
信州飯田七久保町 四百三十三番地 岩崎[illegible]	[illegible]町[illegible] 三丁目[illegible]番地 田中芳男	明治十年 二月廿七日

名物
白魚製
勢州四日市北町
長崎屋十左衛門

銘酒
盛
三河町一丁目
丸屋伊兵衛

一流
工合
御入齒
口科
東京湯嶋六丁目
松下貞次

東京神田万世橋内淡路町二丁目
和漢洋活版所
同活字販賣所
國文社



記
○和漢洋活字
○印刷機械類
○五色インキ
○各種西洋紙墨類
右之外活版用諸品一式何レモ廉價ニ販賣仕候間遠近多少共御註文可被下候也

HAIBARA TOKEI

記
一金四拾銭
右之通正奉受取候以上
十二月廿六日
上野山内
精養軒
田中様

由壹錢五厘
正ニ落手候也
明治九年八月七日
電信局

殿 ヨシヰ
タナカ

明治四年辛未發兌

千八百七十一年原稿
銅刻 新撰輿地方圖 全
附各國旗章一覽
東京書肆 富山堂藏

第十七号	No. 17.
大蔵省 出品	
重秤 三匁掛	
製作人 東京府下 守隨彦太郎	
Scale	
Manufacturer, H. Shuzui, Tokio, exhibited by Finance Dep.	

一 料金七銭

一 届 壹銭五厘

右正ニ落手候也

明治九年八月七日

電信局

横濱電信局印

様 ヨシキ

出 タナカ

YOTSUMEYA
SESU

明治四年辛未發兌

千八百七十一年原稿

銅刻 新撰輿地方圖 全

附各國旗章一覽

東京 書肆 富山堂藏

No. 17.	第十七号
製作人 東京府下 守隨彦太郎	大藏省 出品 重秤 掛三匁

Scale

Manufacturer, H. Shouzui, Tokio, exhibited by Finance Dep.

清香遠馳
瑞雪輕飛
花背月席
誰不携歸
牛込通寺町
船橋和泉

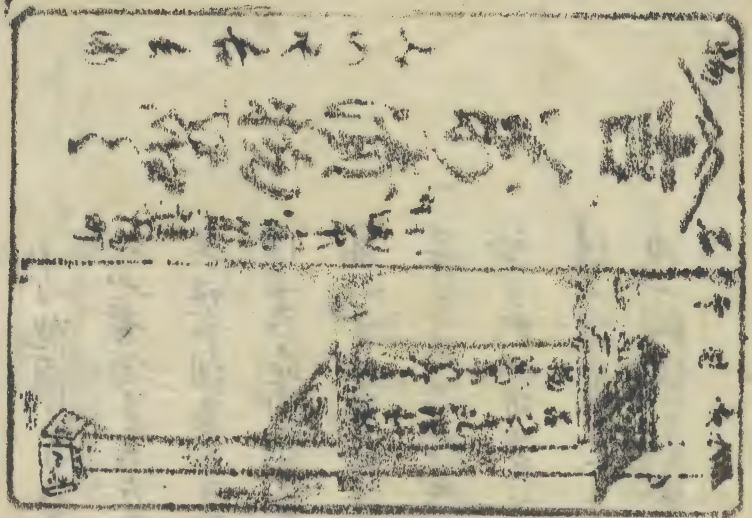
各國ニ勝る
濱の境町
長谷川亀樂

官許

回陽
牛黄丸

價金貳朱

横濱[illegible]町
糸屋[illegible]三郎



新製海苔貫弘記

夫海苔の世ニ賞味せらるゝハ香と味まあて然ㇾども入梅よㇼ暑ニ向ひ又ハ永時化ニ至ㇼてハ囲ひ方六ツヶ敷香味保ち難きハ諸君の知り玉ふ所なり然るニ今般新工夫致し硝子瓶詰弁ニ「ブリキ」函詰まて幾日を經るとも年中新海苔の如く美味香氣も甚よし依て洋行の諸君或ハ遠國旅行の御土産等其外平常御貯ヘ遊され即席御便利の爲め奉調進候間多少よ限らぞ御用向の程奉希上候以上

定價

大硝子瓶詰金壹圓○同七拾五戔○同六拾戔○同五拾戔○同三拾五戔○同二拾戔○同拾貳戔五厘○ブリキ函詰○多品

東京日本橋釘店
山形屋窪田惣八謹白

本家

遠国とも運漕賃金申受配送候間注文御書状奉願上候也

玉川堂筆舗

本舗發賣和漢筆墨文房器玩
著有年矣自製大小諸筆尤加
意緻巧欲極其精願已為大方
家所称賞今益選工料精製發
客以助文雅之興伏祈大雅永
賜光顧

東京[illegible]

添芳齋藤和輔

海丹

青森横町

松尾[illegible]

魚鮮餅

[illegible]

鴨治

浪花

太左衛門橋北

精製鮓所

笠屋町 鴨治

紀元二千五百三十七年
四月二日正午於濱離宮
御饗應獻立

一羹汁 鳥製浮身入
一魚肉 鯛洋品合製蒸煮
一獸肉 洋豕牛酪製
一獸肉 羊腹肉ヲ厂肝製包
一鳥肉 鴨洋菌合製
一獸肉 牛脊肉ヲ洋酒煮
一蔬菜 洋野菜合製
一同 野天門冬
一製酒 洋酒氷製

一鳥肉 七面鳥蒸焼
一獸肉 羊肉蒸焼洋菜
一製菓 洋木實製蒸焼
一同 洋菓入冷製寄物
一同 牛乳鷄卵氷製
一同 大餅形一種
一同 小形數品
一菓實 和洋數品
一食事臺餝付數品

送り状記

番号

出方

右御請取可被下候也

何物運送問屋

今橋西川岸

熊谷伊太郎

玉川堂筆舗

者有年矣自製大小諸筆尤加
意鋩巧欲極其精顧已爲大方之
家所稱賞今又延工料揀製發
客以助文雅之興伏祈大雅永
賜光顧

東京……第一號

泳芳齋藤和輔

MENU

Du diner du 2 Avril 1877.
Servi à l'Hama Rikiu.

POTAGE.

A la Reine aux Quenelles.

RELEVES.

Pain de Saumon.

HORS-D'ŒUVRFS.

Jambon décoré.
Côtelettes de Foie-gras.

ENTREES.

Sarcelles, sauce Champignons.
Filet de Bœuf sauce Madère.

LEGUMES.

Macédoine de Legumes.
Aspérges au Beure Fondu.
Punch à la Romaine.

ROTI.

Dindonneaux Truffé.
Selle de mouton.
Salade.

ENTREMETS

Tarte Franchepain.
Gelée de Macedoine.
Glacé Panaché.
Pièce Montée.
Bonbons, Patisseries, Fromages, Fruits.
Dessert Assorti.

浪花

太左衛門橋北
精製蒲鉾所
笠屋町 鴨治

鴨治

荷物送り状記

番号

出方

物品箇数

田

右今般 丸江積込差送候間着岸御披査之上御請取可被下候也

明治八年三月廿日

運賃金

届向

東京小川町今川小路三丁目九番地
田中芳男殿

諸荷物運送問屋
大阪今橋西川岸
熊谷伊太郎

信玄
ニノ八

通運物受取證

届先 宿町 姓名
豆州熱海
田中芳男様

届先 取調
珍品箪物壱個

量目
三貫五百目

定式 十五ケ 月限
運賃
四十三銭…

封印 立會 改濟

前記ノ貨物當社物貨取扱規則御承知ニ附
正ニ受取送達可仕候也

明治十一年七月廿六日　内國通運會社

田中芳男様

豆州熱海
御定宿
元本陣
渡邉彦左衛門

一新講定宿

小田原宿
小伊勢屋

京三條通
小橋西ヘ入
大甚

名物
詰合

滋養用スープ
三戔八厘

御休
泊
屋平右エ門

領收證

[illegible]

十月二日

大久保利通

執事

領證

[illegible]

三月三日

勸業寮

今製

別製

[illegible]

味

羽前國山形二日町北側

今 阿波屋喜七製

一 [illegible]
[illegible]

右到掌ヲ證ス

十年五月十三日
田中不二麻呂 [illegible]

田中[illegible]殿
[illegible]

領状之證

[illegible]一[illegible]
[illegible]一巻
[illegible]
十二月三日

田中[illegible]
緒方[illegible]

廣告

狭山の茶ハ古来四方ニ著しく[illegible]関東ニ冠タリ内國開港以来[illegible]一年数百万斤の多数を製出する[illegible][illegible]

[illegible]リカニューヨルク出店佐藤百太郎[illegible]

埼玉縣下
武蔵國入間郡黒須村 **狭山會社**

賣捌所 東京釆女町 **中村甚[illegible]**

同 同[illegible] 靜岡園 **佐々井半十郎**

同 同銀座町二丁目 **橘成彦**

米國ニューヨルク府出店 **佐藤百太郎**

一 紙弐包 丹波屋治兵衛

貫匁九

右之通積送り候条着之節御請取可被下候也

八月四日

伊勢四日市港 黒川彦左衛門

東京山下町 田中芳男殿

貫匁九

田中内務権大書記官殿

田中文部大輔 送呈

領收證

一 圓形入 [illegible]

明治十年三月十七日 内國勸業博覧會事務局

東京本町三丁目

熊膽 黒丸子

藥種問屋 いわしや市左エ門

惣本家

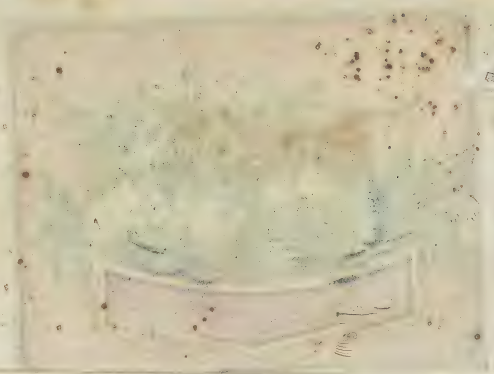
効能

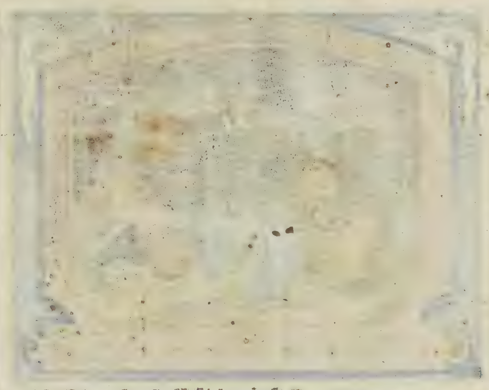
[illegible]

東京四谷内藤新宿 勧農局試験場製

東京四谷内藤新宿 勧農局試験場製

東京四谷内藤新宿 勧農局試験場製





功能

東京本町三丁目
黒丸子
薬種問屋
惣本家
いわしや市左エ門

東京四谷内藤新宿
勧農局試験場製

火口山炭

火口山炭ハ火をうつりその燥あれハ都て多葉粉盆火
許あまつてもさま灰をやハらかにして山炭ぶまきハ切
炭を埋えその小口へ火をつけて此火口山炭を直
ぶうけたるこの火からきゝハ小きお能火をうつろく
ほ移しあれハ忽ち火うつりて尤右調法の品なるべし

製元
廣島縣下安藝國沼田郡新庄村 山本孫兵衛

花見炭團

此炭團ハ花見遊山に携ふべき料に製したるなれど角力芝居なとの
桟敷などに用ひて甚だ便利なし用ひ法ハ火入の灰に穀をまぜ此炭を
埋みおき小口に摺附木にて火をつけおくべし忽ちに炭に
うけおけバ七時間を保つなりしかれバ四方の君子おまへを愛して四時に埋て
火小用ひなさらんことを祈りたてまつる

製元
廣島縣下安藝國沼田郡新庄村 山本孫兵衛

花見炭團　定價壹袋金三錢六厘

此炭團ㇵ薫物入ㇾしてもろ〳〵の臭氣邪氣を拂ひ室内を清潔ㇾなる要品なり是を摺附木燈火ㇾても小口を燒き火入ㇾ埋め置く時ㇵ七時間中火をとめ寢臺の吸烟など尤辨理ㇾして雅品なり

火口炭　定價　大壹袋金六錢五厘　小　貳錢壹厘

此火口炭ㇵ佐倉炭などへ適宜ㇾふりかけ摺附木又は小さき炭の火にてもかろくたく時ㇵ忽ち移り至極調法の佳品なり

右兩品ㇵ新製ㇾして此度上野博覽會附屬賣店にたゐて始めて假舗を開け且風月幽栖に遊ふ諸君子㝎否御經驗ありて漸次愛顧ㇾ預らむ事を伏て冀ふ者なり

明治十年九月

廣島縣下安藝國沼田郡新莊村
山本孫兵衛

ビハルトン

東京第一大區十三小區
橘町三丁目十四番地
賣捌元
伊勢屋松之助

壹壜　定價拾錢

御菓子製所
尾張町二丁目
松田七五三

稟告

夫れ洋菓の製たるや專ね牛乳と麥を以て製するを㝎味とすミルクの人體ㇾ功あるㇵ普く諸君の知る所ㇾして麥も亦五穀の中尤も滋養分を含有するものなり這回敝舖ㇾ於て精製販賣する所のケイクㇵ洋人の㝎工を雇ひて精製せしめ其種類百を以て數ふべし加之年來研究する製法を加へ以て其風味を補ふ所あらんとす冀くㇵ四方の諸君愛顧あらん事を乞ふ

西洋摸製御菓子數品

東京兩國若松町
風月堂鑒製

銘酒
玉川
岡山十日町
(illegible)

梅の香　白ひあぶら

此の歯磨ハ波多先生の發明ㇾより西洋風ㇾ製したる者ㇾて常ㇾ之を用ゆる時ハはぐきをしめ歯の根をかためロ熱をげし息臭を去り歯のはゆを美しㇰ歯の痛ミを治し或ハロ中一切の患を防ぐ奇々妙功ありて實ㇾ古今無比の良品といふべし盖し從來の和製歯磨の如く歯をすりへらし歯の根を弱くする等の害なきハ請合なり

神功水めぐすり
キナ保全酒をきちひの薬
はやの水

花孫露　香水

大日本鉛筆廣告

近来歐米ノ文學盛ニ行ハルヽ世ニ當テハ鉛筆ヲ以テ最モ緊切ナル器具トス其便益タルヤ墨硯ノ勞ヲ煩ハサズ萬里ノ音信ヲ通ジ實ニ寸刻モ缺ク可カラサルノ要品タリ然リト雖モ從來我邦ニ於テ是ヲ製造スルモノナク常ニ他邦ノ輸入ヲ仰グハ遺憾ノ至リト云フベシ予嘗テ之ヲ患ヒ數年心志ヲ勞スルノ際去ル明治五年ノ夏鹿兒島縣下加世田村ニ於テ發見スル黒鉛予カ手ニ入ル之レ則チ鉛筆ノ原種ナレハ之レヲ以テ製造センヿヲ謀リ困苦忍耐務メテ此業ニ從事スルヿ茲ニ數年然ルニ明治九年一月澳國博覽會ノ事務官ナル藤山種廣君同國ニ於テ親ク其製法ヲ傳習シ已ニ歸國セリト聞キ猶其人ニ就キ尓後追々研究シ今日ニ至リ漸ク積年ノ望ミヲ遂ルト雖モ元ヨリ偶然ノ業ニ非ラザレバ未ダ其蘊奥ヲ極ル能ハザレドモ各國輸入ノ品位ト毫モ異ナルヿナシ因テ之レヲ世ニ廣告セントスルノ際内國博覽會ノ盛擧アルヲ以テ直チニ列品ノ餘地ニ備ヘ仰キ願クハ大方ノ諸賢之レヲ熟視シテ日用ノ具ニ充テ給ハランヿヲ

明治十年八月

製造人　東京府下第一大區八小區銀座三丁目廿二番地　小池卯八郎謹白

東京知新堂刻

現きん正札附

寄

萬[illegible]所

御雛物[illegible]

右[illegible]

京都[illegible]町[illegible]角

月　日

[illegible]店

內國勸業博覽會出品名錄

元來筆ニ造ル毛ハ鹿狸馬兎黃狆ノ五種ニ止ル其中兎黃狆ハ其品少キ故唯三種ノミヲ用ヒ來レリ余多年其毛材匱之ヲ恨ミ諸國ノ獸毛ヲ集メ得ルニ隨テ筆ニ造リ其實用ヲ驗スルニ獮猴山羊熊ノ三種ハ其材麁ニシテ用ヲ爲サズ其他諸毛ヲ究ムルニ剛柔ノ性長短ノ質各其妙用ヲ存スル者アリ狗毛ノ良善ナルハ舶來羊ニ減セス猫毛ノ細軟ナルモ亦白兎ト伯仲シテ最奇品トス鼬尾ノ風神ヲ具ヘル松鼠ノ温潤ヲ含メル亦舶來ノ貂毛ヨリ超出ス別ニ梧鼠ノ細頴ニ剛柔中ヲ得ル有テ小楷蠅頭ヲ書スル此右ニ出ル者ナシ蓋シ狗毛ノカヽル良材タルヲ何故古人ノ用ザルヤ知ラズシテ用ザルカ但シ知テモイヤシメタル者カ且ツ舶來各種ノ毫ヲ撿査スルニ或ハ其名有テ實ナキ者アルヲ見ル故ニ今是ヲ製縛メ注意シ用毫ニ裝飾セスタヽ其毛材ノ純乎タル性質ヲ現サンカ爲メニソノマヽ管ニサシ挿ミ凡五十四種ト爲シテ以テ博覽ニ備フ其執使轉用ノ四法ヲ以テ手中ニ自在ヲ得ルガ如キハ諸君ノ試ミテ後ニ知リ給ハンヿヲ

紀元二千五百三十七年明治十年八月二十一日　東京　高木壽頴識

人毛三種及內國諸獸毛材　未加裝飾者　五十四種

胎髮筆（ウブゲフデ）　人髮筆（ヲトコ、カミノケ）　人髭筆（ヲトコノヒゲ）　山兎毛筆（ヤマウサギ）　白兎毛筆（カヒウサギ）　小熊毛筆（コグマ）　白牛毛筆（シロウシ）　野猪毛筆（ヰノシヽ）　豕毛筆（ブタ）

獮猴毛筆（サル）　山羊毛筆（カモシカ）　狼毛剛筆（オホカミ）　狼毛柔筆（オホカミ）　豺毛筆（ヤマイヌ）　海獺毛筆（アシカ）　水豹毛筆（アザラシ）　水獺毛筆（カハオソ）　貉毛筆（ムジナ）

貉尾筆（ムジナノヲ）　猯毛筆（マミ）　猯尾筆（マミノヲ）　貒毛筆（マミノコ）　黃猫尾筆（テンノヲ）　栗鼠毛筆（リス）　鼷鼠毛筆（キネヅミ）　松鼠毛筆（キネヅミ）　鼬鼠尾筆（イタチノヲ）

鼬鼠毛筆（イタチ）　鼩鼱毛筆（アナネヅミ）　梧鼠毛筆（ヨブスマ）　鼠鬚筆（ネヅミノヒゲ）　鼮毛筆（マダラネヅミ）　鼠毛筆（ネヅミ）　狸白毛筆（タヌキノシロ）　狸黑毛筆（タヌキノクロ）　狸尾筆（タヌキノヲ）

白猫毛筆（シロネコ）　赤猫毛筆（アカネコ）　黑猫毛筆（クロネコ）　赤狗毛筆（アカイヌ）　黑狗毛筆（クロイヌ）　武州白狗毛筆（シロイヌ）　相州白狗毛筆（シロイヌ）　常州白狗毛筆（シロイヌ）　冬麚毛筆（フユヲシカ）

冬鹿毛筆（フユメシカ）　夏麚毛筆（ナツヲシカ）　夏鹿毛筆（ナツメシカ）　白馬毛筆（シロウマ）　赤馬毛筆（アカウマ）　靑馬毛筆（アヲウマ）　白馬尾脇筆（ウマノヲハキゲ）　赤馬尾脇筆（ウマノヲハキゲ）　靑馬尾脇筆（ウマノヲハキゲ）

精選製筆名種出品名錄

翰林風月 二圓五十錢　怡顏 二圓　貯雲 二圓　臨清風 一圓五十錢　江上清風 一圓五十錢　山間明月 一圓五十錢　鏤水生花 一圓五十錢　羊毫寶帚 廿五錢　寶帚 二十錢　擘窠大書 十五錢　眞上精選烏絲闌 十五錢　乳毫上料晉唐小楷 十錢　雙料精選 倣京式 十錢　金章一品 六錢　百事大吉 六錢　揀選當朝一品 五錢　倣京式 五錢　大蟹爪 七錢　中蟹爪 六錢　小蟹爪 五錢

雲煙卷舒 一圓十五錢　飛雲秋月 一圓廿五錢　南窓寄傲 一圓廿五錢　密多造化 一圓　賞心 一圓　獨立羽化 一圓　凌万頃 一圓　妙品烏絲闌 十二錢五厘　上上純羊毫 十錢　錐畫沙 九錢　豐約得中 八錢五厘　白毛晉唐小楷 五錢　紫毛第一枝 五錢　白毛第一枝 五錢　貂毛金不換 四錢　紫毫晉唐小楷 四錢　一字千金 四錢　大點花 六錢　中點花 五錢　小點花 四錢

暢叙幽情 一圓　善得時 一圓　神超 一圓　抱明月 一圓　燕影 一圓　翠峻 一圓　落紙雲煙 七十五錢　蕭遠 八錢五厘　大羊兼毫 七錢五厘　上上烏絲闌 七錢　錐鑿 七錢　上品秋芋 四錢　仙鵝 四錢　極品一觴一詠 四錢　一番小文筆 三錢　玉兎毛 三錢　心悟手從 三錢　大山水 五錢　中山水 三錢　中蘭竹 六錢

和氣藹柔 五十錢　林下風味 五十錢　斷雌千尺 四十錢　靜玩古今 四十錢　月白風清 卅五錢　江遠欲浮天 卅五錢　忽有好詩 廿五錢　羊毛烏絲闌 七錢　玉尺求壺 七錢　思逸 八錢五厘　上品純羊毫 六錢　鷄距筆 三錢　方寸千言 四錢　雙料金雀 三錢　小楷ハ印 三錢　小羊毫 三錢　一觴一詠 三錢　小蘭竹 五錢　大着色 四錢　小着色 三錢

花隨四時 廿五錢　煙波跌宕 廿五錢　挾飛 廿五錢　山高月小 廿五錢　水花風葉 廿五錢　悼孤舟 廿五錢　雲無心 二十錢　其壓肩 四錢　純美毫 四錢　揮月 三錢五厘　八面變化 三錢五厘　洛神小楷 三錢　如意管 三錢　散卓筆 三錢　顧兎靈 三錢　栗鼠毫 三錢　不換金 三錢　小描筆 三錢　三枝排筆 十二錢　五枝排筆 二十錢

水落石出 二十錢　近窓花蔭 十錢　江流有聲 七錢　斯草壁窠筆 金十圓　斯草壁窠筆 金七圓　馬鬐壁窠筆 金十圓　馬尾壁窠筆 金七圓　遊方外 六錢　烏絲闌 五錢　毫錐 五錢　勁柳條 五錢　萬變隨手 一錢五厘　夏雲多氣峯 一錢五厘　紫毫金雀 二錢　白毛金雀 二錢　小楷イ印 二錢　小楷ロ印 二錢　馮虛提斗 金三圓　潛蛟提斗 金三圓　揶壓提斗 金二圓

神品高木水筆 五錢　佳品高木水筆 四錢　妙品高木水筆 三錢　極品高木水筆 二錢五厘　精品高木水筆 二錢　一品高木水筆 一錢七厘　上品高木水筆 一錢五厘

督選高木眞書 五錢　鑒選高木眞書 四錢　揀選高木眞書 三錢　料選高木眞書 二錢五厘　精選高木眞書 二錢　別選高木眞書 一錢七厘　上選高木眞書 一錢五厘

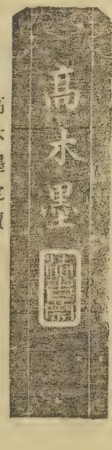
雙料高木小水筆 五錢　督料高木小水筆 四錢　選料高木小水筆 三錢　眞料高木小水筆 二錢五厘　精料高木小水筆 二錢　加料高木小水筆 一錢七厘　上料高木小水筆 一錢五厘

東京御筆司　上品高木水筆　高木壽頴圖

印紙ノ形ヲ圖ノ如ク白紙中草色左右朱摺

高木水筆近來僞名似セ筆所〻ニ有之ルニ付今般更ニ改正仕此紙上ニ記シタル如ク三通リ廿一品圖ノ如キ形印紙ニ相改ル御撿査之上御求奉願上ル且筆造猶一倍精選仕ル間不相替御用之程伏而奉希上ル

博覽會出品油煙墨大小各種通計百二十八挺一挺價金一圓五十錢ヨリ五錢ニ至ル墨名錄紙中セマク略之



高木墨定價
〇〇一挺形 一錢　〇〇一挺半 一錢五厘　〇〇二挺形 二錢　〇〇三挺形 三錢

同上煙定價
〇一挺形 一錢三厘　〇一挺半 一錢九厘五毛　〇二挺形 二錢六厘　〇三挺形 三錢九厘

右ノ外各品油煙墨略之

日本諸名家用筆墨
支那諸名流臨書筆
東京大傳馬町三丁目　高木壽頴精製

明治十年八月

東京諸國トモ私店ヨリ世利賣等一切出シ不申ル

〈巳〉諸國煙草店
東京第一大區四小區雉子町三十番地
常陸屋廉平

一上印大形百本入	金壹圓五十五戔	
一同ロ印同	同三十五戔	一同葉巻鶴印
一同八印同	同二十五戔	一同亀印
一同一印同	同廿三戔	一同松印
一上十印小形百本入	同十二戔五厘	一同竹印
一同へ印同	同廿三戔	一象牙角細工紙巻吸口類
一同十印同	同十二戔五厘	一同葉巻吸口類
一同リ印同	同十五戔	一巻烟草入
一上文印同	同八戔	一烟草御持参ノ紙巻製造御好次第
一上ル印中形百本入	同十八戔	仕候
一同ヲ印同	同十五戔	
一同ロ印同	同十戔	
一同カ印同	同二十三戔五厘	
一同ヨ印同	同十七戔五厘	
一紙巻西洋形粉詰同	同十戔	
一西洋切荒切烟草數品		

蔵州國分製
一上葉巻吸品箱入 一本ニ付 金三戔五厘
金二戔
同一戔五厘
同一戔
同五厘
數品
數品
數品

右之外諸國名葉并外國和製巻烟草類御好次第御進物御折詰諸品格別入念大安賣奉調進候其他卸小賣仕候間御用之御方ハ名迄郵便御遣被下候得ハ早速御届可申上候

官許 あかゞねめつき賣捌所披露

支那あかゞねめつき鍍銅ハ西洋各國ニ行ハるゝこと雖もいまだ我國ニ用る者なきを知年來其法を研究し漸く成功仕ニ付今般製造發賣の官許を蒙り左名ニて相ひらし小賣とも開業仕候何卒多少ニ限らず御用向ニ從ひ御注文あれバ何品ニても出來いたし申候又一旦鍍銅と致候ハ何時迄も光色保ち其銅板ニおいても異ることなく銅ブリキ板ハ價ハ下直にして光色保ち家根の尾又ハ樋とし或ハ火鉢の落とし閉ひ水火に強き事又花瓶置物文房具煎茶器類とし雅君子方此品の用ひ方の如く尚又其他數品あり引て仕る賣捌所ハ光亮とも上品ニ御座候

鍍銅ブリキ板 壹枚代金八戔 弐枚代金拾六戔
同家根尾 壹坪ニ付法寸方代金四円
同火鉢落シ 並形壹通ニ付代金三拾弐戔
同樋 壹寸五分口壹間ニ付代金三拾戔

此外陶器木石竹等の鍍銅御注文次第出來仕候且右鍍銅ブリキ板ハ家ニ銅板ニ於ハしく比ゆる事一銅ニ而も致候販賣所ニ於テ錺屋方職人衆モ御注文次第ニ在之候ニ付此刻印付置ハ御見當の上御求め下さるべく候

明治十年十一月八日開業

製造人
東京浅草旅籠町二丁目二番地
小宮庄兵衛
出口伊三郎

賣捌所
同大門通旅籠町拾九番地
松坂屋世ん

口演

新發明日用附木

抑引光奴者世間日用ニ欠べからざるの要品也今や開明の時運ニ際し燐製マチの輕便なる有と雖も喫煙點燈之用ニ過ざるなり朝炊暮爨之要ニ至てハ引光奴の力を假ざるを得ぞ然るニ善良の木杖を費事小少爲とせぞ予因て多年焦慮發明し從來燒捨又ハ塵芥ニ付そる處の胡麻柄売を以て引光奴を製造そ依て世ニ一般布行せバ國益一端ともならんか江湖之諸彦御試驗れ上明判あらん事を冀望そ

博覽會賣店乙壹區第十五號ニ於賣弘仕候

定價
上等　壹輪ニ付　金壹錢
中等　同　五厘
下等　同　壹厘五毛

明治十年
丑十月

東京第十大區一小區
三河島村百六十二番地
清水喜兵衛

一 今般香水油御化粧道具耳掃除一式內國勸業博覽會見本出品仕候

ヲーテコロリン 菊香水	丸瓶 二十五錢 角瓶 二十錢 中瓶 拾錢	
ハイルヲイル 散髮油	大瓶 二十錢 中瓶 拾錢	
カスメチック 捧鬢附	大一本 二十五錢 小同 十五錢	
セッ道具 耳掃除	壱組 二十五錢	
ツヤダシ スキ油	壱瓶 五十錢 拾錢	

右之外御化粧道具一式発賣仕ル猶又各地御取次被成ル御方ハ原價一タアス以上ヨリ御相談可申ル猶多少共賑々敷御来車之程奉願上ル以上

本舖香水油製所 第一大區九小區山下町九番地
同舩来賣捌所 四ツ目屋木元忠兵衛謹白

冷温共ニ用フベシ若シ温メ用ヒント欲セハ三十分時間熱湯ニ入置キ後チ管ヲ開クベシ

DIRECTIONS.

Serve cold or hot. When required to be heated, put the can, before being opened, into boiling water for thirty minutes.

官許

金海鼠糖

金海鼠練

金海鼠味噌

價定

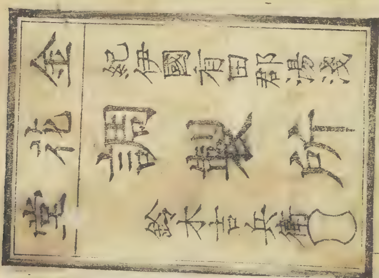
壹斤 金五十錢		
皮包一澤入 金八錢	折入 金十八錢	
金廿七錢	金卅五錢	金六十錢
曲物入 金七錢	金十二錢	
桧八錢五厘		

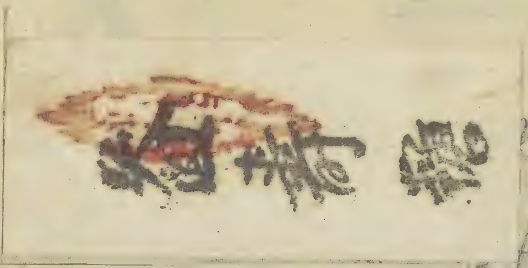
啓告

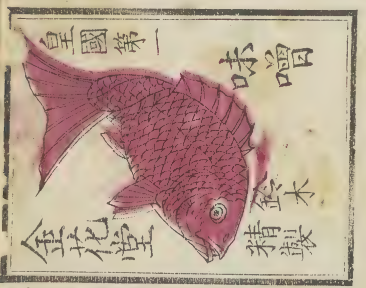
金海鼠の人體に滋養をなすハ今更敢て贊するに及バずといへども第一元氣を主補し臟腑を滋益し能く三焦の火熱を去り虫を殺し虚弱を補養するの故をもつて支那人是を海參と首唱するハ蓋し海中の人參と謂ふ意あるべし吉兵衛常に該品の滋益あるを知り穀類に混じて菓子となし蔬菜に和して食膳に供するの製造に苦力し實に客年の季秋創めて烹調の宜きを得たるの巳還頻ゝ前掲の三品を製造し普く江湖に販賣せしに幸ある哉日倘淺きも諸君の愛顧ハ海よりも深く山の如きの御注文ハ偏に其味ひを愛で其滋養あるを貴重給ふゆゑならん乎嗟人として誰か身體を愛育せざるものあらんや今茲に内國博覧會に際遇し遠く前品を携へ是を該場賣店に販賣けば江湖の諸君多少を問ず博覧會の御土產旁下名に於て御購求脩て愛顧を願ふにあん

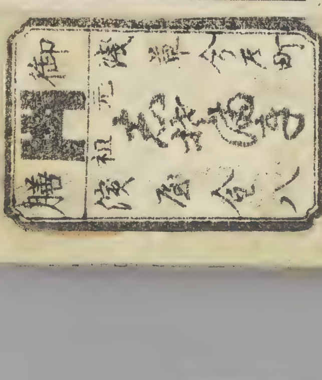
明治十年九月

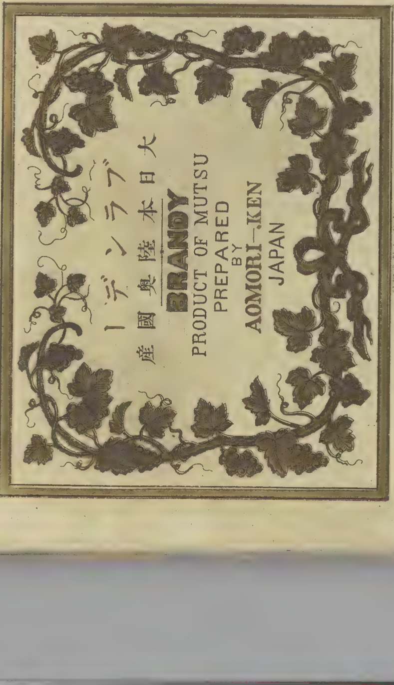
内國勸業博覧會賣物店乙第五号
出店 和歌山縣下有田郡湯淺
金花堂 鈴木吉兵衛謹白



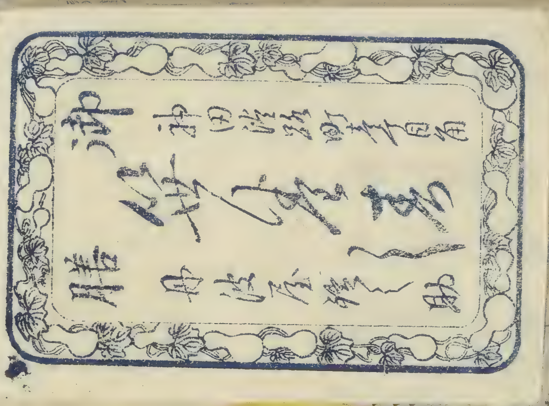








有合御料理
出来仕候



"SAFETY PETROLEUM,"

HEAVY ILLUMINATING OIL

左の直段ハ九月十日ころハ相場なり但し時々増減仕候
〇一度ハさめしに買て御覧なされ誤りハ御座りません

安全火留メ石炭油

常ハ石炭油のランプに用ゆ
一箱 四圓卅七錢五厘
半箱 二圓三十九錢
一合 二錢六厘

此火留め石炭油ハランプ落て破碎(こはるゝ)するとも決して火災(くわじ)ハ患ひ無御座依て正院を始しめ諸官省の御用にも相成方今不可欠(かくべからぬ)安全之良油(よきあぶら)ニ御座候間諸君必御疑念なく多少御試之上御用之程奉冀候也

舶來(はくらい)石炭油大安賣

一鑵 十六錢五厘
一合 一錢七厘五毛

上々品を相撰ミ無類大安賣仕候間多少に拘ハらず御用之程奉冀候但シ一鑵以上ハ箱賣之割ニて差上申候

本ガス油

一合 二錢六厘

此油ハガスランプ幷挑燈ハ蠟燭代りに用て徳用なり

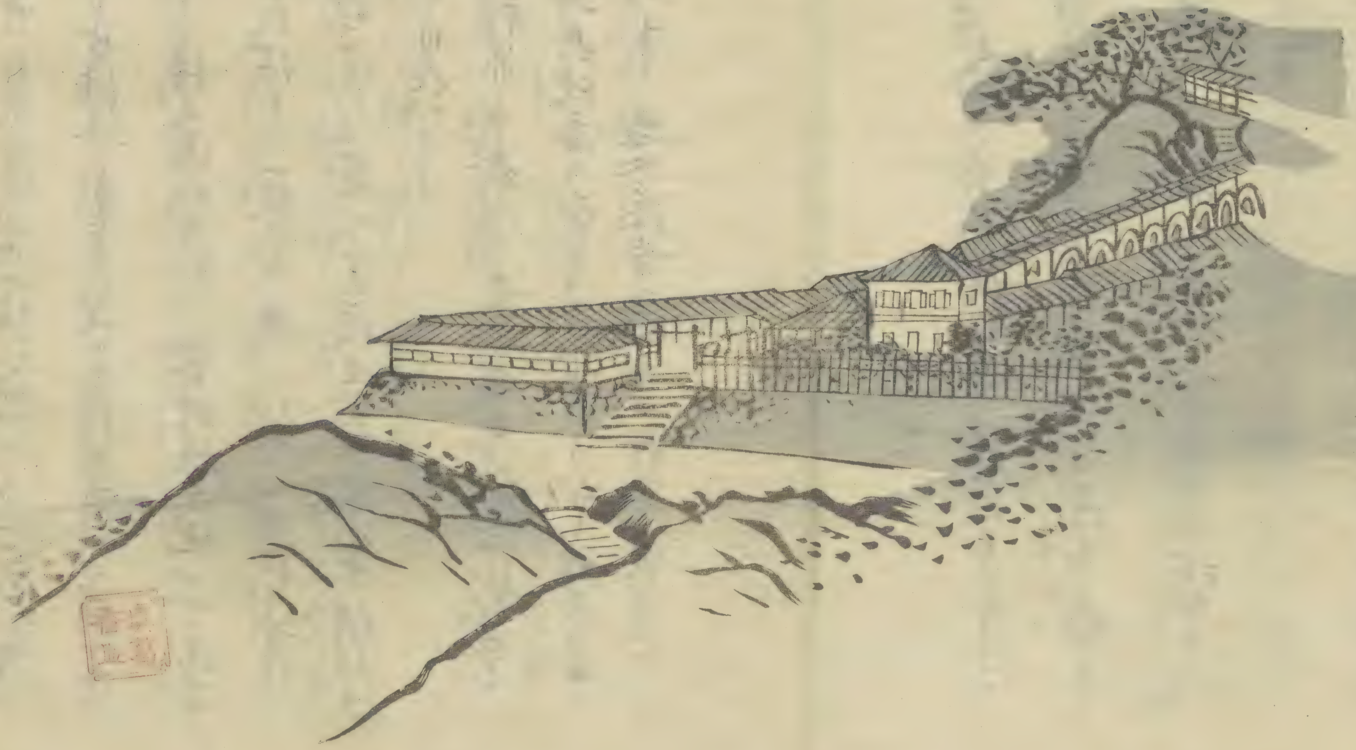
目薬 **神驗水** 定價六錢 東京西久保巴町 松本成規謹製

流行目〇かすミ目〇ハぼせ目〇なミだハ出る目〇やに目〇まぶされたゞき〇目ハ中赤く或ハいたミ等に用て奇効あり委しくハ能書に記す

東京第四大區一小區表神保町二番地

辻 平兵衛

横濱
太田
眞葛
香山
本舗
陶器
製場



明治十年送達紙

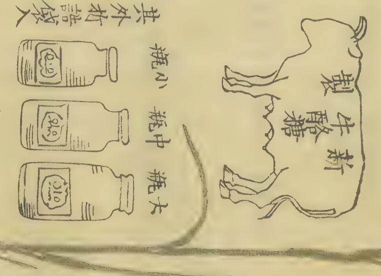
報	號	發局				着局				技術
私報	第三百壱號	横須賀分局	九月廿日	午前八時廿分	三十二字	第廿二號	東京電信分局	九月廿日		(signature)

スベテ電信ヲ頼ミ出スモノハ通信規則ノ通リ心得ベキ事

届 タナカ ヨシヲサマヘ

シンサカンノイチジヨ
ウサシツカヘナシアモ
テムキヲカケアイヲ子
ゴウ

出 ヤマナヲト



大瓶 價 五拾錢（壹個）
中瓶 仝 三拾錢
小瓶 仝 拾五錢
其外折詰袋入 應價不同

此牛酪糖ハ兩三年前より或先生の高示ニ因り牛乳の精粉を以て製造し世間往々牛乳生汁の風味を嫌ひ賜ふ婦幼の為ニ發賣し来りしニ諒般幸ニ内國博覧會の盛擧あるニ逢て出品の可ありやと其關係の人ニ照會せしニ夫ハ極て良案なりと云をうけ任せ一層之を精製して茶媒ハ勿論旁ら小滋養の効を奏せんと欲し更ニ諸先生ニ依頼し其指揮を受け新舶の奇薬を用ひて芳香を加味し乳粉ハ新鮮を撰て風味ハ善良を要め從前のとのよりハ一段品格を進めありと自信せしバ伏てこふ四方大雅の君子愛着を垂れ其風味を試験給けん事を

明治十年六月一日

製造人 上野廣小路北大門町七番地 岡埜金平謹白

追告

○蜜柑糖 ○紫蘇糖 ○牛皮糖 ○牛肉糖

右何れも新製ニして開化者流の茶媒なれハ江湖の俊賢幸ニ購求あらん事を冀望す

和歌山縣物産

大日本帝国製造

フラネル織

仕

立シヤツ品々

和歌山縣織紅町

瀬戸十助出張店

改正符標紙

SÄKERHETS-TÄNDSTICKOR
東京本所柳原町
新燧社製造
Shinsuisha-Tokio-Japan

敝社製造摺付木之儀ハ已ニ壹ケ年餘ノ實驗ヲ曆ヘ今般合藥法ヲ改正シ原品諸種ヲ精撰シ製造雜科ニ至ル迄悉ク注意シ一層上等之摺付木ヲ製出シ益廉價ニ販賣仕候間請フ江湖ノ諸君彌增シ愛顧ヲ垂レ玉ハンヿヲ且上野博覽會開場中同處賣店ニ於テモ改正ノ摺付木發賣仕候間請フ試ニ多少ヲ論ゼズ御購求アランヿヲ

附言近來敝社小箱ノ符標紙ニ類似ノモノ有之今般諸科改正ノ際別テ紛敷ニ付前記之通改正仕候間併セテ廣告仕候也

明治十年八月

本社 東京本所柳原町壹丁目拾三番地 新燧社

長崎西中町貳百七拾八番地 同出張所

稟告

僕本地ニ於テ西洋割烹ヲ以テ業ヲ營ムヿ久シ幸ニ諸君ノ移玉ヲ辱シ日ニ月ニ繁盛ニ赴キ雀躍ノ餘リ洪恩ニ報スルノ素志頻々タリ嘗テ西洋諸名醫先生ノ高敎ヲ聽ク從來菓子ト稱ルモノ皆穀物ニ砂糖ヲ和シ製シ甘美ニ過キ胃腸ヲ傷ヒ消化損スルヿ甚シク殊ニ小兒ヲ傷フヿ夥シク動モスレハ百般ノ病ヲ作シ令ヒ夭折ヲ免ルヽモ終ニ健然タルヿ能ハス但習慣ノ久シキ今ニメ如何トモス可カラスト依テ頃日洋法ヲ擬シ卵子牛乳ヲ以テ更ニ補益營養ノ菓子ヲ製シ少モ害ナクシテ多ク健康ヲ補ヒ庶希クハ國恩萬分ノ一班ヲ報ハント欲ス謹テ請フ此菓子ヲ以テ舊來ノ害物ニ換エ能ク內損ヲ免レ復タ鳳兒麟孫ノ益々健然長育アランヿヲ仰願クハ多ク愛顧ヲ垂レ更ニ從テ㊇一家ニ莫大ノ幸福ヲ賜ワランヿ

九月

東京神田橋外 西洋割烹舖

三河屋久兵衛

改正符標紙

敝社製造揩付木之儀ハ已ニ壹ヶ年餘ノ實驗ヲ歷ヘ今般合藥法ヲ改正シ原品諸種ヲ精撰シ製造雜料ニ至ル迄悉ク注意シ一層上等之揩付木ヲ製出シ益廉價ニ販賣仕候間請フ江湖ノ諸君彌增シ愛顧ヲ垂レ玉ハンヿヲ且上野博覽會開場中同處賣店ニ於テモ改正ノ揩付木發賣仕候間請フ試ニ多少ヲ論ゼズ御購求アランヿヲ

附言近來敝社小箱ノ符標紙ニ類似ノモノ有之今般諸科改正ノ際別テ紛敷ニ付前記之通改正仕候間併セテ廣告仕候也

明治十年八月

本社　東京本所柳原町壹丁目拾三番地　新燧社

長崎西中町貳百七拾八番地　同出張所

大坂高麗橋通三丁目三番地　同出店

揩附木賣捌處姓名

東京日本橋通三丁目十四番地	丸屋善七
同　中橋廣小路町六番地	渥美屋卯吉
同　両國米澤町壹丁目二番地	神崎三郎兵衛
同　大傳馬町二丁目四番地	勝田五兵衛
同　橘町四丁目拾壹番地	鈴木清兵衛
同　境町九番地	田沼常右衛門
同　深川常盤町壹丁目拾三番地	足立定吉
同　本郷四丁目十三番地	水野九左衛門
同　神田柳町四番地	神戸九助
横濱境町商館前	植野屋徳兵衛
下野國宇都宮明神前	山田屋利八
同　日光御幸町	望月常三郎
同　鹿沼驛	江田時三
尾張國名護屋手代町	野瀬徳兵衛
和泉國堺柳ノ町	酒井達堅
西京集産局	立樹彌三郎
同　今出川通寺町東ヘ入	土橋種彌
近江國大津上京町	森久右衛門
大坂伏見町心齋橋筋南ヘ入	百足屋利三郎
同　淡路町心齋橋筋南ヘ入	加賀屋定七
同　北久太郎町心齋橋筋南ヘ入	加賀屋文助
同　本町御堂筋北ヘ入	早野榮三郎
同　大川町淀屋橋東ヘ入	萬谷久右衛門
同　順慶町心齋橋筋北ヘ入	田中長七
同道頓堀戎橋南詰	門内利助

稟告

僕本地ニ於テ西洋割烹ヲ以テ業ヲ營ムヿ久シ幸ニ諸君ノ移玉ヲ辱シ日ニ月ニ繁盛ニ赴キ雀躍ノ餘リ洪恩ニ報スルノ素志頻々タリ嘗テ西洋諸名醫先生ノ高教ヲ聽ク從來菓子ト稱ルモノ皆穀物ニ砂糖ヲ和シ製シ甘美ニ過キ胃腸ヲ傷ヒ消化損スルヿ甚シク殊ニ小兒ヲ傷フヿ夥シク動モスレハ百般ノ病ヲ作シ令ヒ夭折ヲ免ルヽモ終ニ健然タルヿ能ハス但習慣ノ久シキ今ニメ如何トモス可カラスト依テ頃日洋法ヲ擬シ卵子牛乳ヲ以テ更ニ補益營養ノ菓子ヲ製シ少モ害ナクシテ多ク健康ヲ補ヒ庶希クハ國恩萬分ノ一班ヲ報ハント欲ス謹テ請フ此菓子ヲ以テ舊來ノ害物ニ換エ能ク内損ヲ免レ復タ鳳兒麟孫ノ益々健然長育アランヿヲ仰願クハ多ク愛顧ヲ垂レ更ニ從テ(久)一家ニ莫大ノ幸福ヲ賜ワランヿ

九月

東京神田橋外　西洋割烹舗

三河屋久兵衛

○愛知縣二十二品三十一圓廿二錢五厘○山梨縣一
品[illegible]七十九圓五十錢○滋賀縣[illegible]品十[illegible]圓八十六錢。

此清婦湯ハ第一さん前産後ちの道よりおこる病ま
効のう[illegible]しさ[illegible]の道[illegible]中の第一等なる者ま

ADVERTISEMENT.

Though commerce continues to flourish in all the ports of Japan, and the sale of native manufactures to be steadily increasing, yet will there be or happen some inconvenience and obstacles with regard to the system and mode of dealing in the intermediate space of purchasers and the different professional workers. In consequence, the latter will lose their advantage of business and the former will be unable to get the accurately-performed articles. In consideration of which, the Kioto-Bazar (Shiusankioku) was established at Kawaramachi under the patronage and assistance of the local government and all the commodities manufactured or produced under the jurisdiction of Kioto-fu are collected at this place for the encouragement of occupation to the workers and also for rendering accommodation to satisfy the purchasers. We (the clerks) solicit to receive suggestions and informations from foreign purchasers who are solicited when in Kioto to call and inspire the collection which comprise the following articles viz:

Various kinds of woven cloth.
Raw, and Dyed thread.
Embroideries.
Manual works of picture.
Metal works.
Works of Tin, iron etc.
Fans.
Dye-plants and Paints.
Crapes of different colors.
Tapes.
Scraps of cloth.
Artificial flowers.
Lacquer works.
Crockeries.
Writings, Pictures Photographs and Oil paintings.
Bamboo, Ratan, Whale-bone works.
Engravings and Sculptures.
Japanese, and European paper Cigar, Cigarette, tobacco etc.
Ivory works etc.

Bisides those mentioned above, there are things either manufactured or produced within the terminus of Kioto-fu.

Kioto Bazar and Clerks.

京都集産局外客汎告

近來各港ニ於テ貿易ノ盛ナルモ猶購客職工ノ間ニ不便アリテ職工之レカ爲ニ業ヲ失ヒ購客遂ニ精巧ノ品ヲ得ルヿ能ハサルアラン依テ爲ニ「バザール」ヲ設立シ遍ク京都名産ノ物類ヲ集萃シ以テ職工ヲ助ケ外客ノ購求ニ便ナラシメヨト府廳勸誘ノ篤キ吾輩謹テ此旨趣ヲ守リ廣ク發賣ノ道ヲ盛ニセンヿヲ禱ル願クハ四方ノ客來ツテ集品ヲ歴見シ購求アランヿヲ

京都集産局取扱人謹白

品物概畧

金襴　繻子　郡忠　天鵞絨　押畫剪綵　陶器七寳燒　諸彫刻品

諸錦類　博多　純子　生染糸　花簪　扇團扇　和洋紙

羽二重　絖　綴錦　組紐類　金銀銅器　書畫油畫寫眞　煙艸卷田葉粉

綾　精好　鹿の子類　繡縫物　漆器　染艸繪具　砂糖

綸子　書絹　友染類　襟小袱紗類　錫鐵武刀細工　竹籐鯨細工　象牙細具

其他悉皆府下ニ産スル物或ハ製スル物

日就社印行

東京日々新聞號外附録

明治十年十月八日 月曜日

○昨日ハ伏見宮伊藤工部卿田中文部大輔大山少將佐野議官等の諸公も來觀せられたり中にも大山少將ハ久しく戰地に跋渉せられたる後なれバ今日この盛んなる會場の景况を見られなバ誠に世界を殊にしたるが如く思ハれたるならん

○東本館に陳列せられし紙幣局抄紙部の出品のうち甲乙丙丁戊印の石版用紙甲乙印の圖引紙甲乙書狀紙甲乙丙の狀袋同摸寫用紙の如きハ其質尤も堅靭にして西洋紙の如く折目より裂ることなく毛むたゝず又た印刷ハ移り宜しく水につきても伸縮の憂なくインキを用ひて書寫するに鈍染の憂なく尤も妙とすべきハ久しく濺め置くも蠧の生せざると幾ら揉みくちやにしても手にて展バせバ再び元の如くに成りて更に其皺痕を見ずと云ふ

○山梨縣下巨麻郡宮本村なる内藤筑波の出品せる水晶の玉ハ直徑凡五寸にして其價ハ二千六百二十五圓なりと

○宮城縣出品の馬ハ何れも逸物多く既に六日にハ四十五圓の馬を東京府士族太田昌敬と云ふ人が買ひ昨日ハ中牟田海軍少將が七十五圓の馬を購ハれしと云ふ

○熊本縣陳列の内に八代産高田燒陶器數十品增加相成る

○福島縣下岩代國伊達郡川俣村紡織會社出品の紗織帳蚊地を製造して昨日列品せり其長サ三丈三尺六寸幅五尺七寸六分にして量目百三十四匁賣價金十一圓五十錢なり尤も周圍一ヶ處縫合すれバ蚊帳になるものなり實に新發明の蚊帳地なり

○賣買約定濟一昨六日午後より昨正午迄の分

東京府廿七品四十三圓廿三錢○神奈川縣三十品六圓五十四錢五厘○大坂府二品一圓十二錢七厘○兵庫縣五十壹品四十圓三十五錢五厘○堺縣三品十五圓廿五錢○島根縣廿二品四圓九十七錢五厘○和歌山縣十七品廿二圓三十八錢○栃木縣六品一圓五十錢○福島縣四品三圓四十八錢七厘○宮城縣二品廿錢四厘五毛○岩手縣十二品二十三圓八十九錢四厘(但五日午後ヨリ)○青森縣九品十九圓十錢○山形縣二品六圓七十錢八厘○秋田縣一品廿七圓九十八錢○開拓使六品二圓六十一錢八厘○新潟縣三品一圓四錢八厘○埼玉縣二品三圓七十九錢○群馬縣一品五圓五十五錢○茨城縣七品七圓十三錢四厘二毛

御用

春慶塗御細工所

[illegible]

山村三九郎

○愛知縣二十二品三十一圓廿二錢五厘○山梨縣一品百九十九圓五十錢○滋賀縣四品十四圓八十六錢五厘○長野縣四品八圓九十二錢五厘○石川縣六品四圓三十五錢一厘

○昨日縱覽人員三千二百廿三人

○此附錄ハ當會場中のとお限り記載すればお望の方ハ原稿へ博覽會も別記し本局日報社へ投せらるべし無代價ふて記載すべし場外の廣告ハ一行五錢前金ヲ受候事

報告

拙者上野勸業博覽會場全景ヲ「カンレイシヤ」ニ染取リ或ハ手風呂敷トシ該場賣物店ニ於テ發賣ス該場觀客ノ諸彥御購求ヲ乞フ遠國ノ諸彥ハ御土產ニ適品ナリ

島田

官許

ちの道の藥

清婦湯（せいふたう）

本舗　高木氏製

此清婦湯ハ第一さん前產後ちの道よりおこる病よ功のう著しき事實ふ血の道藥中の第一等なる者よて方今開明の諸君の普く知る處ふ付今般博覽會場へ出品仕候且各府縣下及び數多取次所有之候間お求め下さるべく候若し取次所之れ無き御地ハ私方へ御沙汰下さるべく候如何ほど遠國ふても速かふ御送屆け申上べく候間多少ふ拘らず御申越し下されくれ御用御ためし下さるべく候也

東京元大坂町十四番地

本舗　高木與兵衛

東京日々新聞定價幷郵稅表

壹枚		三錢
壹ヶ月	前金	七十錢
三ヶ月	同	壹圓八十錢

○郵便稅

壹枚 壹錢

貳枚以上目方十六匁〔弊社新聞紙四枚〕迄 貳錢

以上目方十六匁每ニ貳錢ヲ增ス

但持込ニ相成候地方ハ外ニ壹個ニ付持込稅壹錢

○遞送 每日ニテモ四日分一束ニテモ御差圖ニ應シ遞送スベシ

○報告料ハ一行十九字ニ付キ一日金五錢前金ニテ御遣シノ事

○休業 日曜日 大祭日

明治十年

東京尾張町壹丁目壹番地

東京日々新聞日報社

テル萃篤願

古今無比
くすりはみがき

○此薬歯磨は西洋風に製造しある者にて常に之を用ゆる時は歯の汚穢を除き齦をしめ歯根をかためロ熱を解し息臭を去り或は歯の痛を治する等に絶妙奇功ありて實に古今無比の眞品と云ふべし蓋し從來の和製歯磨の如く歯牙の實質を磨滅し齦を剝脱して歯根を弱するの害なければ用て知給ふべし

袋入 二錢
箱入 五錢
挽物入 十錢
この外金蒔繪錢付等品々

官許

一瓶 二十五錢
十二本以上一割引

此酒は健胃強壯薬にして飲食を進め氣力を増し精神を爽にし[illegible]を快し殊に胃酸を制し腹氣を驅り胃[illegible]を靜むるを以て弱胃不消化家學事倦怠者及び稟賦虚弱の人等は常に缺く可らず或又中暑霍亂虎列剌等を豫防するの偉功あり且美味佳香を存し實に闔世の眞劑たるを以て近來諸方の先生之を健康の人たりとも毎食後の飲料となして尤も貴重するに足りと賞賛せられたり

衛生品發賣廣告

保全堂

弊店の儀は當時專ら流行の賣薬師と其趣き大に異なり蓋し賣薬師流は一薬を以て萬病を治し一擧以て千金を得んと欲する者の如しと雖も弊店の着眼する處是等と甚だ同しからず一は海外輸入の幾分を防ぎ一は人民衛生の一班を補はんと欲するの微衷に在りと雖も未だ開業日淺く且微力にして遽に之を行ふ事甚だ難き故に漸々小兒常用の菓子類より病人用の飲食及病室用の器具等に至る迄衛生必要の物品は悉く之を調整仕り聊も保全堂の名義に不相背様仕度候請ふ四方の諸君偏に御愛顧給はらん事を希ふ

東京神田通りかお町三拾壹番地 保全堂謹白

官許

定價 一瓶 五錢

○此めぐすりは既に米國諸大醫の最も賞用する稀代の製劑にして我國に於ては輓今波多先生之を以て千萬人の眼病を治し其神妙奇功あるを證せられし無類の眞薬なれば請ふ用ひて他の賣薬類に比較せられん事を希ふ
かすみめ。やにめ。たゞれめ。はやりめ。のぼせめ。むしめ。等一切の眼病によし

ひゞ。志もやけ。あせものによし又皮膚のあれ手足の痛み等に甚だ妙なり

小瓶價 八錢
大瓶同 十五錢

香油 梅が香 上品 一瓶 二拾五錢 並品 同 拾五錢

香水 花の露 上品 一瓶 二十五錢 並品 同 十五錢

新鮮 香橙舎利別 清涼甘味にして夏日の飲料に尤も賞翫すべし

上野博覧會附属賣店西側乙一區第九號に於て發賣致し尤も開店中景物差上候間何卒賑々敷御來車を希ふ

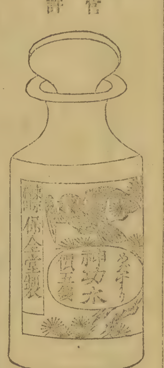
官許

古今無比
くすりはみがき

○此は波多先生の發明により西洋風に製造したる者にて常に之を用ゆる時は齒の汚穢を除き齒齦をしめ齒根をかため口熱を解し息臭を去り或は齒の痛を治する等に絶妙奇功ある事廣大にして實に古今無比の眞品と云ふべし蓋し從來の和製齒磨の如く齒牙の實質を磨滅し齦を剝脱して齒根を弱するの害なきは用て知給ふべし

袋入 二錢
箱入 五錢
捺物入 十錢
この外金蒔繪
錫付等品々

官許



定價 一瓶 五錢

○此めぐすりは既に米國諸大醫の最賞用する稀代の製劑にして我國に於ては輓今波多先生之を以て千萬人の眼病を治し其神妙奇功あるを證せられし無類の眞藥なれば請ふ用ひて他に比較せられん事を希ふ

かすみめ。やまめ。さゝれめ。はやりめ。のぼせめ。むしめ。等一切の眼病によし

衞生品發賣廣告

保全堂

官許

一瓶 二十五錢
十二本以上一割引

此酒は健胃強壯藥にて飲食を進め氣力を增し精神を爽にし睡眠を快し殊に胃酸を制し風氣を驅り胃痛を鎭靜するを以て胃弱不消化家學事倦怠者及び稟賦虛弱の人等は常に缺く可らず或は夏日之を服すれば豫め中暑の患を防ぎ冬月之を用ふれば須く寒威を凌ぐに足るべし蓋し斯の如く多功にして且美味佳香を存し實に闔世の良劑と云ふべきなり

このつやの水の功用は最早諸君の知り給ふ處なれは爰に略す

ひゞしもやけ
あせもの藥

小瓶價 八錢
大瓶同 十五錢

香油 梅が香 上品 一瓶 二拾五錢
並品 同 拾五錢

香水 花の露 上品 一瓶 二十五錢
並品 同 十五錢

弊店の儀は當時專ら流行の賣藥師と其趣き大に異なり蓋し賣藥師流は一藥を以て萬病を治し一攫以て千金を得んと欲する者の如しと雖も弊店の着眼する處是等と甚同しからす一は海外輸入の幾分を防ぎ一は人民衞生の一班を補んと欲するの微衷に在りと雖も未だ開業日淺く且微力にして遽に之を行事甚難きか故に漸々小兒常用の菓子類より病人用の飲食及病室用の器具等に至る迄衞生必要の物品は悉く之を製造仕り聊か保全堂の名義に不相背樣仕度候請ふ四方の諸君偏に御愛顧給はらん事を希ふ

東京神田通りかぢ町三拾壹番地
保全堂謹白

上野博覽會附屬賣店西側乙一區第九號に於て發賣致し尤も開店中景物差上候間何卒賑々敷御來車を希ふ

牛乳製剤品目

一乾牛乳　一コンデンストミルク
一丸子　一乾酥　一醍醐油

凡牛乳製剤ハ製しやうにて其功ハ大同小異
総テ滋養補給の功ハ生乳と相伯仲ス故ニ
生乳乏しく或ハ全くなき地に遇ヘハ代用して
生乳と異なる事なし又諸病ニ用ひて滋
養補給乃功他薬の及ぶ所にあらず皆ゝ諸
病なり一切病後虚弱者に宜しかるべし

一胃虚飲食不消化　一労瘵　一咳嗽
一経久下利　一痢疾　一小児乃五疳　羸痩
其他衰弱病ニ用ひて滋養の一良薬なり

用量

小児ハ壹回三銭五分ヨリ八銭
大人ハ壹回四銭ヨリ十二銭

以上ハ適宜の温湯ニ溶解して用ゆべし

岡山縣下美作國英田郡福本
嶋雲軒精製

西洋傳習 万年瓦 家根紙賣捌廣告

從前我が國の家造りは瓦葺を上等とし板屋茅屋を下等とせり然るに瓦はその質かたくして火事を防ぐに宜しきも其直段安からず且つ目方も甚はだ重きものゆへ瓦葺の家造りには地形材木切込まで皆夫々に品ともに撰み手とも多く掛けざるを得ず故に其物入り一方ならざれば中人以下の住居には容易に普請すること難く又板屋茅屋は全たく之と反對にてその直段は至つて安す上りなれども火事の防ぎをなし難く又持ち方も甚はだ悪く何れも一方に偏倚て宜しきを得しものなきを從四位由利公正君が年頃こゝろに懸られて殊に先年東京府の知事を勤めらるゝ時は夜となく晝となく處々方々に火事沙汰の繁きを見ていよ〳〵之を憂ひられ何ぞ能き工夫もがなと思はるゝうち岩倉大使に從がひて西洋諸國へ渡られしかは往く先〳〵の家造りに氣を附け心を配りて巡回せられしに亞米利加邊の町々にはタールペーパといふ紙の瓦にて家根を葺たる所おほきを見出し精しく其法を傳授せられ歸朝の後四五年このかた頻りに之を經驗されしが此紙瓦にて家根を葺けば直段は板屋と格別の違ひなくして火事の防ぎは瓦屋と少しも違はず殊に目方は土瓦の十分の一にも足ざれば地震の恐れも自づから輕く家根の重み少なきゆへ地形切込柱立等も瓦屋ほどの手は掛らず且つ家根の高配は一丈に付き二寸の割とよしとなせば木品も餘ほど減省し殊さら其質油にて堅めたる物なれば水に強きは云ふも更なり其葺方は家根一面を數十百枚の紙瓦にて葺合せ其續目を貼付て幾坪にても一枚の紙瓦となし其上に細かき砂利を一面に塗付くるものなれば如何なる風にも吹き散ることなく又踏み歩行ても破るゝことなく踏めば益〳〵落付て丈夫になり風に吹れて砂埃かゝればいよ〳〵其質を堅固にし年月を經るに從がひて紙の油は家根の下地に浸込みて板の腐敗を止め直段は安く功能多く實に便益ある者なれば此程由利公正君より雛形一棟を東京府へ獻じ尚は實地の經驗を受け其上私し方にて賣弘めを願ひしに人民相對にて賣買いたし苦しからざる旨の御指令を蒙むりたれば一つには家造りの便利を開き二つには火事を防ぎ且つ地震に頽れ風に吹卷るゝの憂ひを除く鴻益を天下に廣く及ぼさん爲め弊店に於て澤山仕入れ置き四方の求めに應ぜんと欲す請ふ江湖の土木造營をなすの君子陸續と御注文ありて其功益と便利とを實地に經驗したまひと云ふまで爾り

附言

一並製紙瓦目方四貫目に（但し壹坪葺上げ分）付き壹圓二拾錢を定價とす

　但し別段上等お望の向は御注文次第に調進すべし

一府下にて御入用の向は御注文次第職人さし出し葺上げ申すべし

一府外遠方より御注文の向は俵苞にいたし運送すべし

　但し葺方は一讀して明細に分り易き仕様書を相添申すべし

一取次賣弘め御望の向はお申し越次第其々御約定申すべし

一平家二階家長家造りその木造り塗屋練瓦家の擇びなく如何なる家造りに用うるも至極便利なり冀望くは陸續と御注文を賜ひ

東京銀座壹丁目川岸通六番地
家根紙賣捌所
寺木定芳謹告

廣告

鐵の世に必用なる素より治亂を問さるものにして古今各國ともに然り而して吾組開業せる上州甘樂郡中小阪邑鐵礦山なるものハ其質磁鐵礦にして最美善良各國無類の品位なり既ふ廿七年前より數人盡力すと雖も容易其功を遂す天賜空しく匿るが如し然るに今度吾山一組の研究盡力に依り漸次成功し今や製鐵ハ勿論橋梁幷鐵管及ひ諸機械或ハ鍋釜類ふ至るまて何器を云ハん鑄造製練相成候此功能實驗の荒增を云ハヽ鐵質密着にして究て堅剛器械に用ひて殊に宜敷砲彈を造て量目重く諸品銹腐を生する少なく鍋釜の類ハ直に用ひて氣臭なし實ふ古來稀なる良質と云へし右ハ今度下名の店ふ於て格別低價に賣弘候猶御註文次第諸品出來可申候間物の多少を不論御購求あらんことを希望候也

山一組鐵賣捌所　東京銀座二丁目壹番地

紀伊國橋西詰角　山一組代理　渡邊質

永井泰次郎

明治十年五月

取次賣捌人

東京銀座壹丁目河岸六番地　寺木定芳

同銀座三丁目　墻谷吉兵衛

同芝口壹丁目　酒匂平藏

横濱辨天通り壹丁目　鴨井屋平次郎

同太田町壹丁目　佐藤金藏

路
電信局前東二階町
本屋

博覧會場賣品之證

博覧會場賣品之證

博覧會場賣品之證

手燈
羽後国秋田郡大舘町
製造人
山田政五郎
秋田縣第三大区一小区
秋田郡大舘町
出品人
山田政五郎

茶盃
羽後国秋田郡大舘町
製造人
山田政五郎
秋田縣第三大区一小区
秋田郡大舘町
出品人
山田政五郎

東奥名産十府菅薦

國名産
仙府國分町
名取川埋木
及川屋勇蔵

褒状 石渡[illegible]衛門

武州[illegible]

博覧会場
賣品之証

一 [illegible]
けいせい
御多葉粉入
[illegible]村
つぼや清兵衛

口上

[illegible]

巳 九月

[illegible]

[illegible]

巳九月

御多葉粉入

つぼや清兵衛

褒状

石渡嘉右衛門

証

一金 [illegible]

内金 [illegible]

手金トシ

右物品引取ハ必ス本會閉場後十日

シ若シ此期限ヲ違ヒ候時ハ物品他

金ヲ没收スヘキ者也

明治十年十二月六日

熊本縣 松岡[illegible]

博覧會場賣品之證

田中芳男殿

証

一金 弐[illegible]

内金

伊那郡上古村 池田[illegible] 一出品

手金トシテ請取

右物品引取ハ必ス本會閉場後十日以内タルヘ

シ若シ此期限ヲ違ヒ候時ハ物品他ニ賣却シ手

金ヲ没收スヘキ者也

明治十年十一月十日

長野縣 神井田[illegible]

事務局 田中芳男殿

第六十二号

収證

一長田川書記官宛封書壹

明治十二年一月十八日

外務省

領收之證

一 銭包 壹

封書 壹

明治十二年一月廿七日

東京大學

法學部
理學部
文學部

甲内藤権大書記官

今井小路通四丁目大和地

東京大學

領収證

宍戸昌氏宛書状一

明治十二年二月十一日

東京府

櫻草比競

絞り 一辻

東	名	西	名
大関	艶	大関	香爐峰
関脇	雅の霞	関脇	鷺土壽
小結	田舎の月	小結	松風
前頭	小夜衣	前頭	龍田川
前頭	龍管海	前頭	百夜車
前頭	神代の月	前頭	岩戸光
前頭	初霞	前頭	帛椒
同	玉追獅子	同	神通力
同	牡丹獅子	同	妙知力
同	文珠獅子	同	一念力
同	緋乃袴	同	宇宙
同	銀世界	同	笑酔姿
同	通車	同	酔芙蓉
同	箕尾瀧	同	思ひの侭
同	内裏遊	同	櫻の笑
同	月の光	同	一天四海
同	秋風楽	同	紅葉賀
同	天の川	同	美人競
同	湧泉殿	同	仙人
同	花車	同	銀鬘輪
同	珊瑚光	同	司召
同	花月	同	夕顔
同	都鳥	同	残月
同	和歌浦	同	白芙蓉
同	青海原	同	紫雲

行司 廿取翁 喰割紙　廣輝殿
同 薫花風　西王母
勧進元 猩々錦
差添 八重霞

東：横笛　連城　濡鷺　二見ヶ浦　春雪　武者揃　翁遊　京鹿子　智勇　雲井　鳳凰宮　紅天明鶴　朧月　鏡帛　代々の誉

王の巻　酔人　壺の玉　若の東　下花提　棚引　紫綠　森鳥　天の乙女　泥中玉　村雨　光孫香　所綠の袖　御所車　晋天下　鳳凰殿　技の尾

西：陽炎　山間月　玉敷官　萩上風　松雪　浅妻船　夕霧　猩々舞　東明　綾衣　星降　大河光　梅の香　江戸自慢　菱の雫

浮牡丹　不二越　玉川　酒守花　陣太鼓　満手玉　花長閑　都櫻　玉散夜　初音　月の園　霞の友　薔化粧　温の島　旭光　還城　雨後の月

此表ニ洩レタルハ不日次表ニ出スベシ

東京第四大區十一小區牛込天神町二十一番地 柏園謹白

博物館藏版書籍目錄

一有用植物見本	壹箱四層	上等金貳圓三拾錢 下等金壹圓八拾錢
一有用動物見本	同	上等金三圓 下等金壹圓五十錢
一日本鑛物見本	壹箱	上等金壹圓六拾錢 下等金壹圓五拾錢
一木材學鑑品	壹箱四層	金三圓三十錢
同附錄	壹冊	金四十錢
一有用木材捷覽	壹冊	金一圓廿五錢
一動物學 全編着色 / 面部着色 / 黑摺	二冊	金二圓廿五錢 金一圓 金九十五錢
一動物訓蒙	一冊	金五十錢
一草木圖說目錄	一冊	金壹圓
一金石學	一冊	金四十六錢
一金石對名表	一冊	金十二錢五厘
一日本金石產地	一冊	金十八錢
一敎草一覽	三拾枚	金一圓五十錢
附錄鷹狩一覽	壹枚	金五錢
一草木乾腊法	壹枚	金二錢四厘
一動物画圖	廿五枚	金三十七錢
一博物館列品圖錄 動物部	一枚	金十六錢
一仝列品目錄 植物類	一冊	金二十錢
一仝 鑛物類	壹冊	金三十三錢
一仝 動物類	壹冊	金廿五錢
一仝 （史傳部 軍事傳）	壹冊	金廿五錢
一博物館書目 國典	二冊	金五十四錢
漢籍	一冊	金三十錢
一博物館書籍解題略	五冊	金九十錢

裏ヘ續ク

…目錄

金貳圓三十錢
金壹圓六十錢
金壹圓廿五錢
金貳圓貳十錢
金壹圓
金九十五錢
金五十錢
金壹圓
金五錢
同
金貳錢四厘
金壹錢五厘
金壹錢五厘

賣捌所
東京第壹大區九小區
南鍋町壹丁目五番地
文會舍
同第壹大區七小區
南傳馬町貳丁目十三番地
有隣堂

小兒四才迄ハ無賃十二才迄ハ半賃金小包胴亂ノ類ハ無賃其余目方三十斤迄ハ二十五錢三十斤以上六十斤迄ハ五十錢其中間ノステーシヨンハ何レモ其半賃錢尤一人六十斤迄ニ限ル

下リ車時刻表

新橋	品川	川崎	鶴見	神奈川	横濱
	午前九字五分	九字二十二分		九字三十九分	九字四十五分
	十字五分	十字二十二分		十字三十九分	十字四十五分
	十一字五分	十一字二十二分		十一字三十九分	十一字四十五分
	午後四字五分	四字二十二分		四字三十九分	四字四十五分
	五字五分	五字二十二分		五字三十九分	五字四十五分
	六字五分	六字二十二分		六字三十九分	六字四十五分

賃金表

	品川	川崎	鶴見	神奈川	横濱
上等		三十七錢五		七十五錢	九十三錢七五
中等		二十五錢		五十錢	六十二錢五
下等		十二錢五		二十五錢	三十一錢二五

上リ車時刻表

横濱	神奈川	鶴見	川崎	品川	新橋
午前八字	八字六分		八字二十二分	八字四十分	
九字	九字六分		九字二十二分	九字四十分	
十字	十字六分		十字二十二分	十字四十分	
午後三字	三字六分		三字二十二分	三字四十分	
四字	四字六分		四字二十二分	四字四十分	
五字	五字六分		五字二十二分	五字四十分	

賃金表

	神奈川	鶴見	川崎	品川	新橋
上等	十八錢七五		五十六錢二五	九十三錢七五	
中等	十二錢五		三十七錢五	六十二錢五	
下等	六錢二五		十八錢七五	三十一錢二五	

一觀古美術會聚英　五冊　金三十六錢
一仝出品目錄　九冊　金卅二錢四厘
一上野公園地實測圖　一折　金二十錢
一博物雜誌　五冊　金卅八錢八厘
一博物叢書　穴居考　一冊　金十五錢
一仝　石器考　一冊　金十五錢
一仝　天日槍歸化時代考　蘇耶易叱知來朝考　一冊　金廿五錢
一求古圖譜　一冊　金八十五錢
一八丘椿　一冊　金六十六錢
一君臺觀左右帳記　一帖　金七十五錢
一奈良の落葉　一冊　金一圓七十五錢
一東大寺献物帳　一冊　金七十五錢
一寸珍帖　二葉　金二十錢
一集古名蹟帖　九十四枚　金十圓八十一錢
一伊都内親王御願文橘逸勢書八枚　金一圓二十錢
一古文書寫眞　廿一種　代價不同
一古文書石版摺　七葉　金三十五錢
嵯峨天皇震翰二、杜家立成書四、空海書一、
一增補考古畫譜　二冊　金二圓廿五錢
一考証畫圖　三十七枚　金四十七錢
一工藝志料　二冊　金四十五錢
一工藝百圖　陶器部　十枚　金壹圓十錢
一同　漆器部　五枚　金五十五錢
一英國ドクトルドレツセル氏同行報告書一冊　金二十錢

賣捌書肆
東京々橋區南鍋町壹丁目五番地　文會舍　西洋平
東京々橋區南傳馬町二丁目十三番地　有隣堂　穴山篤太郎

印刷　有隣堂第二活版所

下リ

	新橋	品川	川崎	鶴見	神奈川	横濱
		午前九字五分	九字二十二分		九字三十九分	九字四十五分
		十字五分	十字二十二分		十字三十九分	十字四十五分

賃金表

	新橋	品川	川崎	鶴見	神奈川	横濱
下等		六錢二五		十八錢七五	三十一錢二五	
中等		十二錢五		三十七錢五	六十二錢五	
上等		十八錢七五		五十六錢二五	九十三錢七五	

上リ車時刻表

横濱	神奈川	鶴見	川崎	品川	新橋
午前八字	八字六分		八字二十二分	八字四十分	
九字	九字六分		九字二十二分	九字四十分	
十字	十字六分		十字二十二分	十字四十分	
午後三字	三字六分		三字二十二分	三字四十分	
四字	四字六分		四字二十二分	四字四十分	
五字	五字六分		五字二十二分	五字四十分	

博物館出版物定價目錄

一有用植物見本　壹箱四層　金貳圓三十錢
一有用鑛物見本　壹箱　金壹圓六十錢
一有用木材提覽　壹部　金壹圓廿五錢
一動物學仝編着色　同　金貳圓貳十錢
一同面部着色　同　金壹圓
一同墨摺　同　金九十五錢
一動物訓蒙　同　金五十錢
一草木圖説目錄　同　金壹圓
一敎草　三十帙　壹帙　金五錢
附錄　鷹狩一覽　同　同
一草木乾腊法　同　金貳錢四厘
一動物壹枚摺　同　金壹錢五厘
一有用動物見本近成
一考古壹枚摺　金壹錢五厘

賣捌所
東京第壹大區九小區　南鍋町壹丁目五番地　文會舍
同第壹大區七小區　南傳馬町貳丁目十三番地　有隣堂